

工 事 番 号	部 長	課 長	課長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者
設計年度	平成 2 年度		<p style="text-align: center;">城町第2排水区雨水管新設工事（2-1工区）</p> <p style="text-align: right;">仕様書</p> <p>公共下水道事業</p> <p>三原市城町三丁目</p> <div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px;">基幹</span> <span style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-left: 20px;">仕 様 書</span> </div>			
施工月日	令和 年 月 日					
施工方法	請 負					
工事期間						
工 事 概 要			起 工 理 由			
路線延長（雨水補助） L=144.8m 管体延長 管渠工（推進） φ1000 L=136.4m 管体延長 管渠工（開削） φ900 L=2.1m						

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市城町三丁目 公共下水道事業 城町第2排水区雨水管新設工事(2-1 工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書 令和元年8月 広島版  
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
  - ・下水道土木工事必携(案) 2014年度 公益社団法人日本下水道協会
  - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

### 第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

### 第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和元年8月広島版)『第3編 1-1-10 検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

### 第5節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

## 第2章 材料

### 第1節 公共柵蓋

公共柵に使用する蓋は、塩ビ製又は鋳鉄製(ともにデザイン入り)とする。

なお、車庫等輪荷重のかかる恐れのある箇所については、原則として、鋳鉄製蓋を使用するものとする。

## 第3章 施工条件

### 第1節 工 程

#### 1 施工時期・時間の制限

時 期 全工事期間

時 間 8：30～17：00

#### 2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目 地下埋設物（水道管、ガス管などの埋設物あり）

調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

移設時期 必要に応じて、別途協議するものとする。

提出書類 「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

### 第2節 用 地

#### 1 借 地

あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

### 第3節 公害対策

#### 1 事前・事後調査

調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。

調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

#### 第4節 安全対策

##### 1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，市道部は2（人／日），国道部は3（人／日）を見込んでいる。

#### 第5節 工事用道路

##### 1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

#### 第6節 建設副産物

##### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

##### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

## 第8節 工事支障物件

### 1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管
管理者	三原市水道部
位置	協議による
移設時期	協議による

## 第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

## 第10節 その他

### 1 工事中機資材の仮置き

場所	指定しない
期間	指定しない
保管方法	指定しない

## 第4章 設計金額

### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和元年8月広島版）『第1編 1-1-30 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

## 第5章 公共樹設置について

## 第1節 公共樹の設置について

本工事の平面図に記入されている公共樹の高さは、使用材料の高さを示している。これは、あくまでも設計時における標準高さであり、実際に設置する場合は、地権者等と協議し、その位置及び高さを決定するものとする。

## 第2節 公共樹等設置申請書

地権者等との協議により、公共樹の設置位置等が決定した場合、受注者が責任をもって「公共樹等設置申請書」を預かるものとする。

## 第6章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

## 第7章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

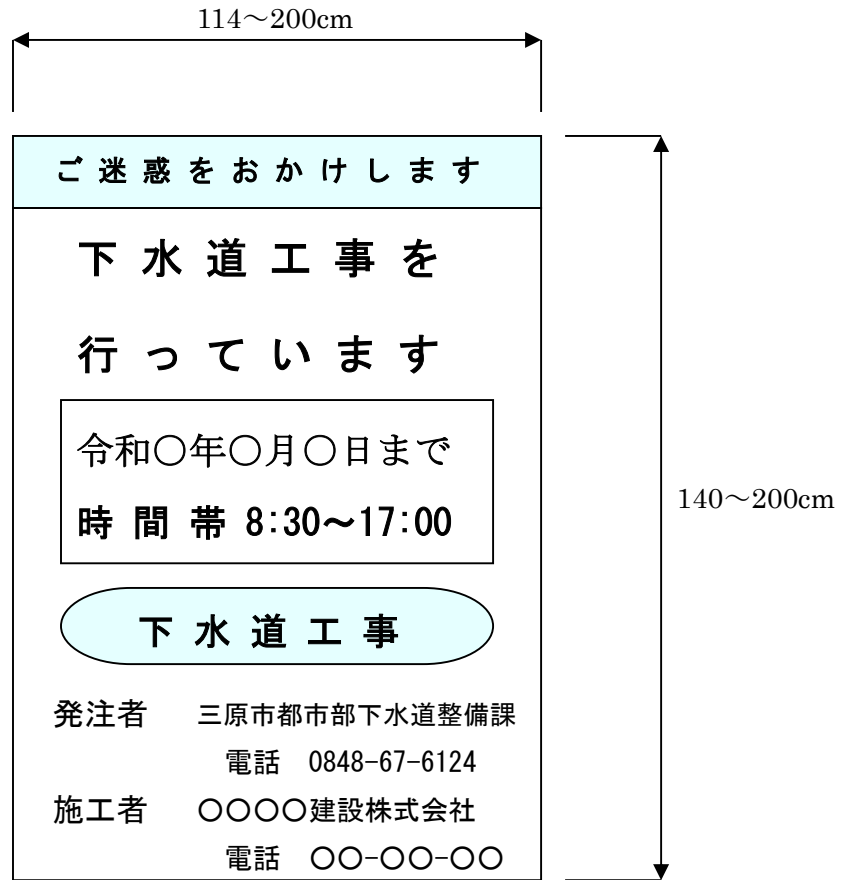
なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 原因調査     | 監督員と協力して行なうものとする。                             |
| (2) 補償交渉     | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。                         |
| (3) 応急処置     | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。   |

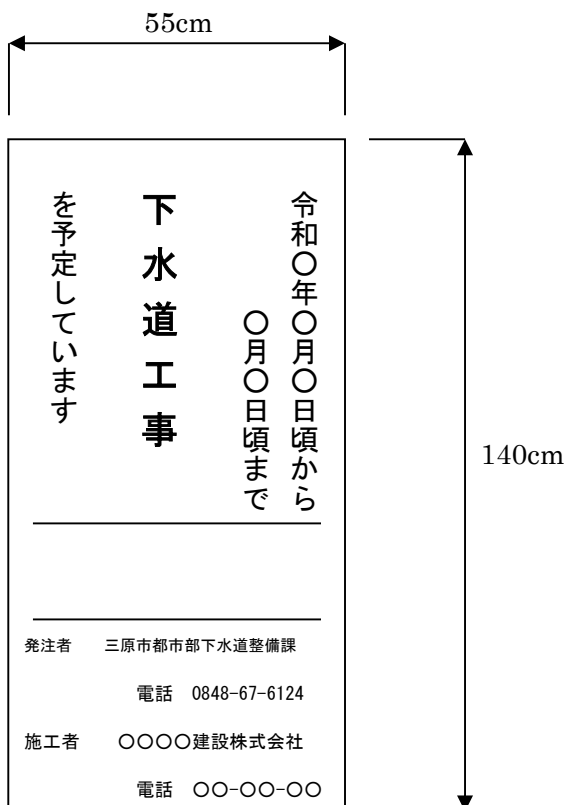
## 第8章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

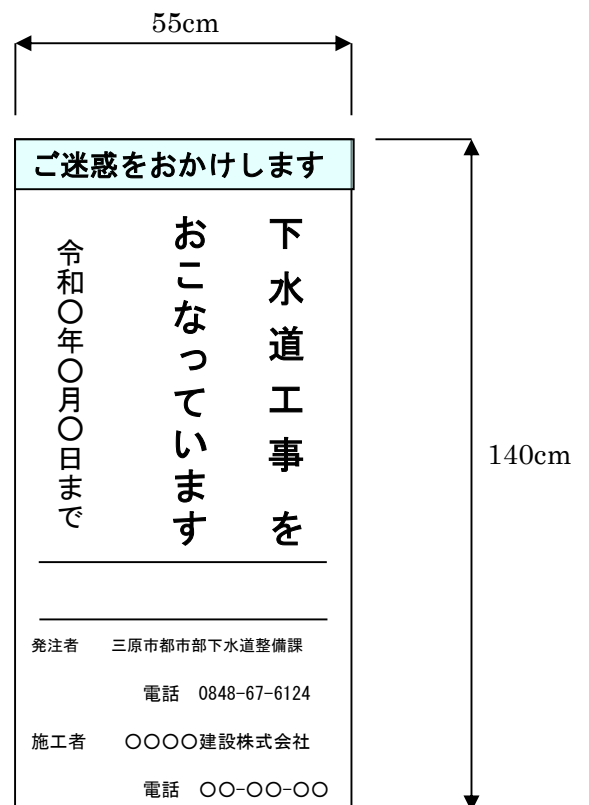
【工事標示板】



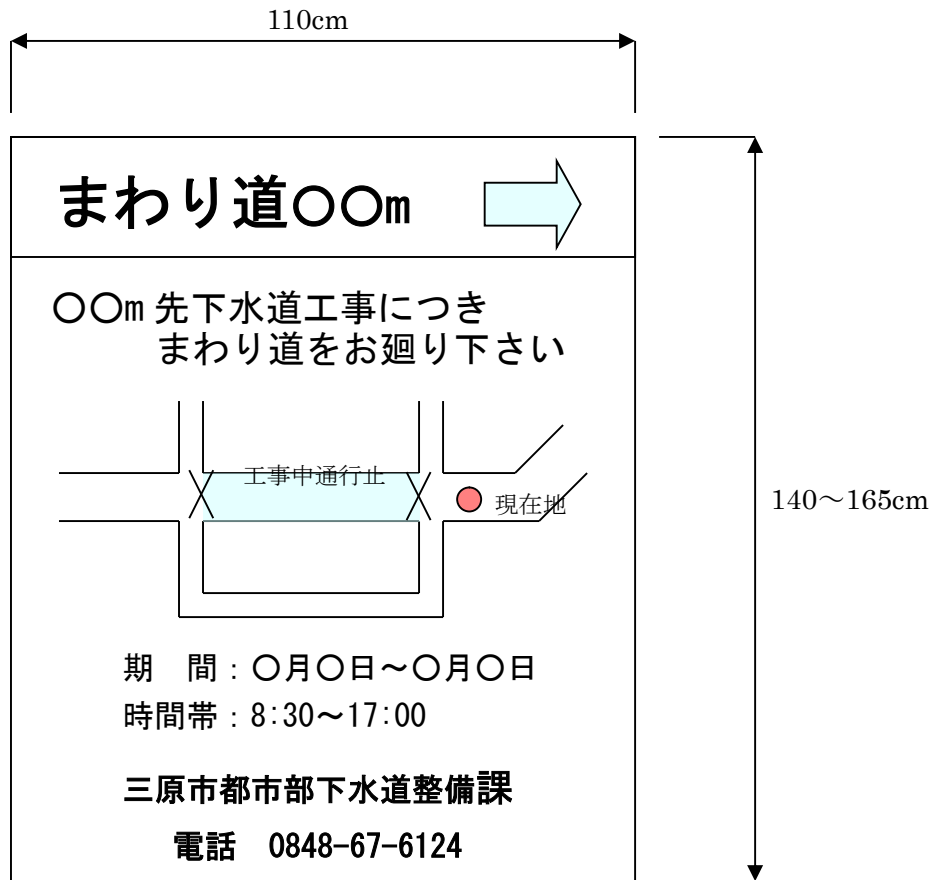
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】





# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
管路施設(推進工法)(中大口径推進)		式		1	レベル1
管きよ工		式		1	レベル2
刃口推進工		式		1	レベル3
推進用鉄筋コンクリート管(刃口)		m		2	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
裏込め		m		2	レベル4
立坑内管布設工		式		1	レベル3
構造物取壊	鉄筋構造物	m3		0.5	レベル4
殻運搬処理		m3		0.5	レベル4
補修モルタル		m3		0.1	レベル4
仮設備工(刃口)		式		1	レベル3
支圧壁		箇所		1	レベル4
構造物取壊	無筋構造物	m3		0.7	レベル4
殻運搬処理		m3		0.7	レベル4
クレーン設備組立撤去		箇所		1	レベル4
坑口		箇所		1	レベル4
鏡切り		箇所		1	レベル4

# 工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
刃口及び推進設備		箇所	1	レベル4
発進架台工		式	1	レベル4
泥濃推進工		式	1	レベル3
推進用鉄筋コンクリート管(泥濃)		m	131.2	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
裏込め		m	131.2	レベル4
管目地		箇所	55	レベル4
立坑内管布設工	φ1000	式	1	レベル3
鉄筋コンクリート管		m	2.8	レベル4
ホルダー管工		式	1	レベル3
ホルダー管設置作業工		箇所	1	レベル4
仮設備工(泥水式・泥濃式推進)		式	1	レベル3
クレーン設備組立撤去		箇所	1	レベル4
坑口		箇所	2	レベル4
鏡切り		箇所	2	レベル4
推進用機器据付撤去		箇所	1	レベル4
掘進機発進用受台		箇所	1	レベル4
掘進機搬出		箇所	1	レベル4

# 工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
通信・換気設備工		式	1	レベル3
通信配線設備		式	1	レベル4
換気設備		式	1	レベル4
送・排泥設備工		式	1	レベル3
送・排泥設備(泥濃式推進)		式	1	レベル4
注入設備工		式	1	レベル3
注入設備		箇所	1	レベル4
推進水替工		式	1	レベル3
推進用水替		式	1	レベル4
立坑内管布設工	φ 900	式	1	レベル3
鉄筋コンクリート管		m	2.1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立5号マンホール		箇所	1	レベル4
組立5号マンホール材料		式	1	レベル4
組立箱型マンホール		箇所	2	レベル4
組立箱型マンホール材料		式	1	レベル4
補助地盤改良工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
薬液注入		式	1	レベル4
立坑工	M-1	式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
鋼製ケーシング式土留工及び土工		式	1	レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削		m	6.5	レベル4
底盤コンクリート		箇所	1	レベル4
圧入掘削設備		箇所	1	レベル4
鋼製ケーシング存置		式	1	レベル4
仮設ケーシング損料		式	1	レベル4
立坑排水		箇所	1	レベル4
排水運搬処理		箇所	1	レベル4
円形覆工板		箇所	1	レベル4
立坑工	M-2	式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4

# 工事数量総括表

頁0 -0005

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ライナープレート式土留工及び土工		式	1	レベル3
ガイドコンクリート		式	1	レベル4
構造物取壊	無筋構造物	m3	1	レベル4
殻運搬処理		m3	1	レベル4
ライナープレート掘削土留		m	4.7	レベル4
ライナープレート埋戻		m3	46	レベル4
ライナープレート存置		式	1	レベル4
立抗基礎工		式	1	レベル4
管路路面覆工		式	1	レベル3
覆工		式	1	レベル4
構造物取壊	無筋構造物	m3	0.3	レベル4
殻運搬処理		m3	0.3	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	25	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2	30	レベル4
殻運搬処理		m3	5	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3

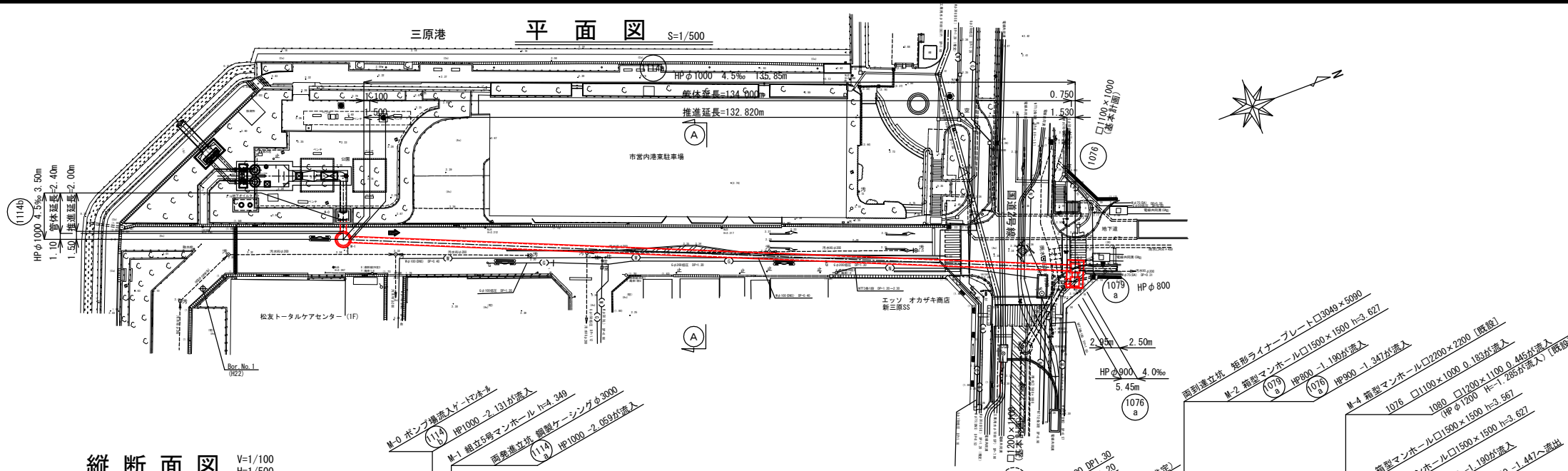
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
下層路盤(市道部)		m2	7	レベル4
上層路盤(市道部)		m2	7	レベル4
表層(市道部)		m2	12	レベル4
下層路盤(国道部)		m2	13	レベル4
上層路盤(国道部)		m2	13	レベル4
上層路盤(国道部)		m2	18	レベル4
基層(国道部)		m2	18	レベル4
中間層(国道部)		m2	18	レベル4
表層(国道部)		m2	18	レベル4
ブロック舗装撤去(インターロッキング)		m2	22	レベル4
ブロック舗装(インターロッキング)		m2	22	レベル4
路盤(歩道部)		m2	22	レベル4
区画線工		式	1	レベル3
溶融式区画線		m	5	レベル4
道路付属物撤去工		式	1	レベル3
暗渠排水管設置撤去		m	3	レベル4
歩車道境界ブロック設置撤去		m	4	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1

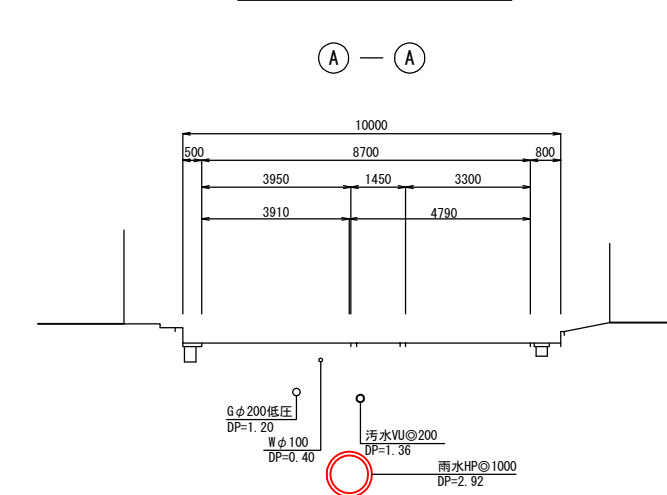
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		157	レベル4
**直接工事費**					
共通仮設費率分					
**共通仮設費計**					
**純工事費**					
現場管理費					
**工事原価**					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額**					
**工事費計**					
**契約保証費計**					

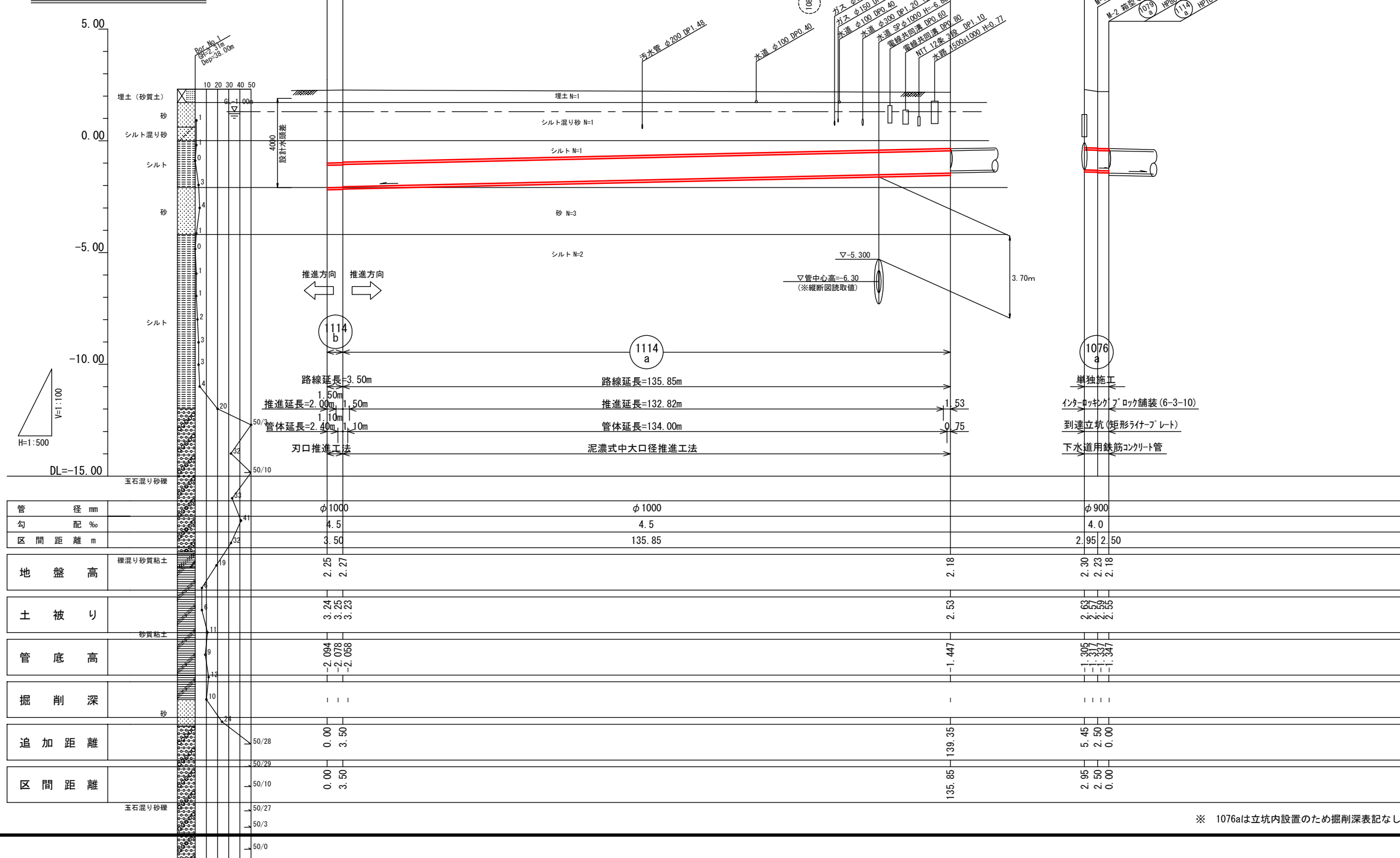
三原港 平面図 S=1/500



横断面図 S=1/100

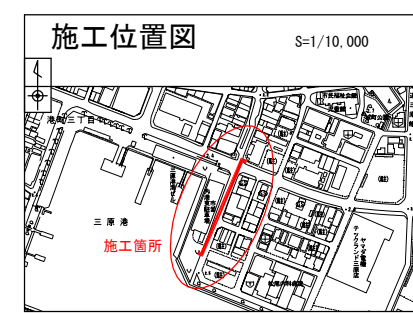


縦断面図 V=1/100 H=1/500



凡例

→	雨水実施
- - -	雨水既設
- - -	雨水計画
⊙	組立2号人孔
⊕	組立1号人孔
○	組立0号人孔
⊗	小型塩ビマンホール
●	汚水宅内樹、取付管
○	雨水宅内樹、取付管



管番号	管径	工法	延長
1114b	φ1000	推進・単独	3.50
1114a	φ1000	推進・単独	135.85
1076a	φ900	推進・単独	5.45
計			144.80

令和2年度 公共下水道事業(雨水)

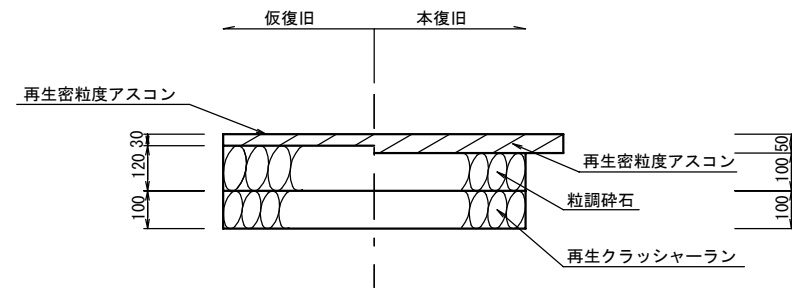
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事(2-1工区)		
工事場所	三原市	城町三丁目	地内
図面番号	縮尺	図示	
平面・縦断・横断面図			
三原市			

※ 1076aは立坑内設置のため掘削深表記なし

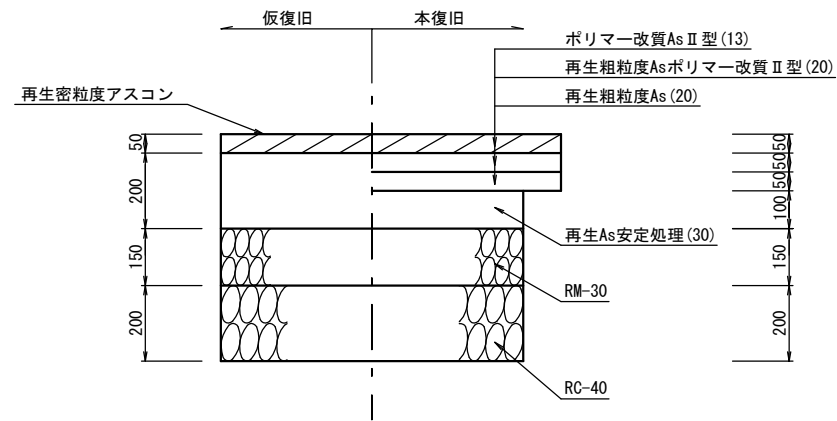


付 帯 工 図  
(S=1/10)

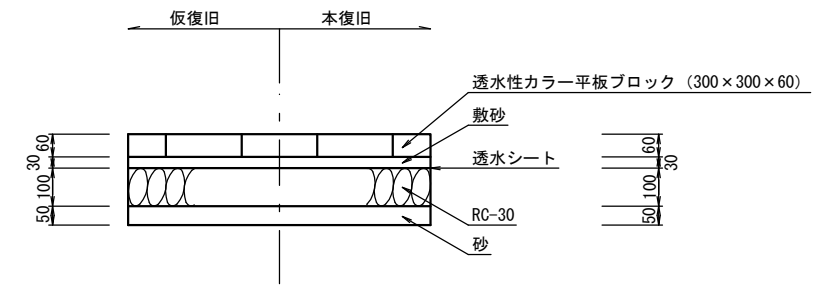
一般市道部  
(車道As部)



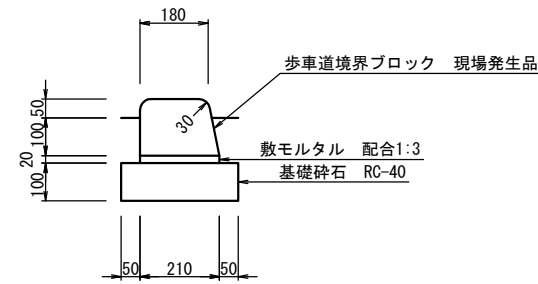
国道部  
(車道As部)



国道部  
(歩道IRB部)



道路付属物復旧工  
(歩車道境界ブロック 乗入れ部)



(10m当り)

歩車道境界ブロック	現場発生品	個	0
敷モルタル	配合1:3	m <sup>2</sup>	0.042
基礎碎石	RC-40	m <sup>3</sup>	0.310

令和2年度 公共下水道事業(雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事(2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/10
付 帯 工 図		
三 原 市		

# 参 考 资 料

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-02.03.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 30 下水道工事 (1) 05 市街地(DID補正)(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(推進工法)(中大口径推進)					Y1103 レベル1
管きょ工	1	式			Y110301 レベル2
刃口推進工	1	式			Y11030101 レベル3
推進用鉄筋コンクリート管(刃口)	1	式			Y1103010101 レベル4
推進工法用管鉄筋コンクリート管 JSWAS A-2 2種50N内圧4P 1000×2430	2	m			F000000101 00
推進工法用管鉄筋コンクリート管 JSWAS A-2 2種50N内圧4P 1000×2430 カラー無	1	本			F000000102 00
管内掘削工	1	本			SG1D0108001 00
坑内作業工	2	m			単第0 -0001 表 SG1D0108002 00
	2	m			単第0 -0002 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
坑外作業工					SG1D0108003 00
	2	m			単第0 -0009 表
発生土処理					Y1103010102レベル4
	1	式			
建設汚泥運搬工 8t車 22.6km以下					V0002 00
	2	m3			単第0 -0011 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
泥水処理費					F000000202 00
	2	m3			
裏込め					Y1103010103レベル4
	2	m			
裏込注入工 刃口推進					SG1D0109001 00
	2	m			単第0 -0013 表
立坑内管布設工					Y11030104 レベル3
	1	式			
構造物取壊 鉄筋構造物					Y1103010501レベル4
	0.5	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(鉄筋構造物)					SDT00033 00
	0.5	m3			単第0 -0015 表
殻運搬処理					Y1103040105レベル4
	0.5	m3			
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.0km超)					SPK19040148 00
	0.5	m3			単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
再資源化施設受入費 アスファルト殻					F0000000203 00
	1	t			
補修モルタル					Y1103010404レベル4
	0.1	m3			
コンクリート 小型構造物 コンクリート(各種) 人力打設					SPK19040150 00
	0.1	m3			単第0 -0017 表
仮設備工(刃口)					Y11030105 レベル3
	1	式			
支圧壁					Y1103010501レベル4
	1	箇所			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.7	m3			SPK19040150 00  単第0 -0018 表
型枠 一般型枠 小型構造物	4	m2			SPK19040152 00  単第0 -0019 表
構造物取壊 無筋構造物	0.7	m3			Y1103010501レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物)	0.7	m3			SDT00031 00  単第0 -0020 表
殻運搬処理	0.7	m3			Y1103040105レベル4
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.0km超)	0.7	m3			SPK19040148 00  単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻 無筋	2	t			F000000204 00
クレーン設備組立撤去	1	箇所			Y1103010502レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
クレーン設備工 刃口推進 呼び径 800～1,100mm	1	箇所			SG1D0113001 00  単第0 -0021 表
坑口	1	箇所			Y1103010504レベル4
坑口工 刃口推進	1	箇所			SG1D0114001 00  単第0 -0022 表
鏡切り	1	箇所			Y1103010505レベル4
鏡切り工 刃口推進 呼び径 1,000mm	1	箇所			SG1D0100001 00  単第0 -0026 表
刃口及び推進設備	1	箇所			Y1103010506レベル4
推進設備工 刃口推進 呼び径 1,000mm	1	箇所			SG1D0115001 00  単第0 -0028 表
刃口撤去工 呼び径 800～1,000mm	1	箇所			SG1D0115002 00  単第0 -0029 表
発進架台工	1	式			Y1103010507レベル4



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
切梁・腹起し設置,撤去 設置	1.1	t			S1050039 00 単第0 -0030 表
切梁・腹起し設置,撤去 撤去	1.1	t			S1050039 00 単第0 -0031 表
泥濃推進工	1	式			Y11030103 レベル3
推進用鉄筋コンクリート管(泥濃)	131.2	m			Y1103010301 レベル4
推進工法用管鉄筋コンクリート管 JSWAS A-2 2種50N内圧4P 1000×2430	55	本			F000000101 00
推進工法用管鉄筋コンクリート管 JSWAS A-2 2種50N内圧4P 1000×2430 カラー無	1	本			F000000102 00
切羽作業工 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 昼間施工	131.2	m			SG1D0411001 00 単第0 -0032 表
坑内作業工 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 昼間施工	131.2	m			SG1D0411002 00 単第0 -0034 表
坑外作業工 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 昼間施工	131.2	m			SG1D0411003 00 単第0 -0037 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械器具損料(1)	1	式			SG1L0411012 00 単第0 -0039 表
機械器具損料(2)	1	式			SG1L0411013 00 単第0 -0040 表
機械器具損料(3)	1	式			SG1L0411023 00 単第0 -0041 表
発生土処理	1	式			Y1103010302レベル4
建設汚泥運搬工 8t車 22.6km以下	245	m3			V0002 00 単第0 -0011 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
泥水処理費	245	m3			F0000000202 00
裏込め	131.2	m			Y1103010303レベル4
裏込注入工 泥水式・泥濃式推進	131.2	m			SG1D0109002 00 単第0 -0042 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管目地					Y1103010304レベル4
	55	箇所			
目地モルタル工					SG1D0110001 00
	55	箇所			単第0 -0043 表
立坑内管布設工 1000					Y11030104 レベル3
	1	式			
鉄筋コンクリート管					Y1103010401レベル4
	2.8	m			
鉄筋コンクリート管布設工 呼び径 1,000mm					SG1D0004001 00
	2.8	m			単第0 -0045 表
ホルダー管工					Y11030104 レベル3
	1	式			
ホルダー管設置作業工					Y1103010401レベル4
	1	箇所			
ホルダー管設置作業工					V0004 00
	1	箇所			単第0 -0046 表
仮設備工(泥水式・泥濃式推進)					Y11030106 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
クレーン設備組立撤去	1	箇所			Y1103010602レベル4
クレーン設備工 泥水式・泥濃式推進 呼び径 800～1,100mm	1	箇所			SG1D0113002 00 単第0 -0051 表
坑口	2	箇所			Y1103010603レベル4
発進坑口工 ホルダー管用	1	箇所			V0009 00 単第0 -0052 表
到達坑口工	1	箇所			SG1E0114002 00 単第0 -0054 表
鏡切り	2	箇所			Y1103010604レベル4
鏡切り工	9	m			SG1E0100001 00 単第0 -0055 表
鏡切り工	9	m			SG1E0100001 00 単第0 -0056 表
推進用機器据付撤去	1	箇所			Y1103010605レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
推進用機器据付撤去工 泥水式・泥濃式推進 呼び径 800～1,100mm	1	箇所			SG1D0119001 00  単第0 -0057 表
アクロバットジャッキ架台据付撤去工	1	箇所			V0013 00  単第0 -0059 表
掘進機発進用受台	1	箇所			Y1103010606 レベル4
掘進機引上用受台工	1	箇所			V0012 00  単第0 -0060 表
掘進機搬出	1	箇所			Y1103010610 レベル4
掘進機分割搬出工 泥濃式	1	台			V0014 00  単第0 -0061 表
通信・換気設備工	1	式			Y11030107 レベル3
通信配線設備	1	式			Y1103010701 レベル4
通信配線設備工 泥水式・泥濃式推進	1	式			SG1D0125001 00  単第0 -0062 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
換気設備					Y1103010702レベル4
	1	式			
換気設備工 泥水式・泥濃式推進 泥濃式推進 呼び径 1,000mm					SG1D0126001 00
	1	式			単第0 -0063 表
送・排泥設備工					Y11030108 レベル3
	1	式			
送・排泥設備(泥濃式推進)					Y1103010802レベル4
	1	式			
高濃度泥水注入設備工 組立工・撤去工					SG1D0412001 00
	1	箇所			単第0 -0067 表
吸泥排土設備工 組立工・撤去工					SG1D0412002 00
	1	箇所			単第0 -0068 表
排土貯留槽設置撤去工 容量 20m3 設置・撤去					SG1D0412003 00
	1	箇所			単第0 -0069 表
管内設備撤去工 呼び径 1,000mm					SG1D0412004 00
	1	式			単第0 -0070 表
注入設備工					Y11030110 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
注入設備					Y1103011001 レベル4
	1	箇所			
注入設備工 泥水式・泥濃式推進 呼び径 800～3,000mm 設置撤去工					SG1D0127001 00
	1	箇所			単第0 -0071 表
推進水替工					Y11030111 レベル3
	1	式			
推進用水替					Y1103011101 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	72	日			単第0 -0072 表
立坑内管布設工 900					Y11030104 レベル3
	1	式			
鉄筋コンクリート管					Y1103010401 レベル4
	2.1	m			
推進工法用管鉄筋コンクリート管 JSWAS A-2 1種50N内圧4P 900×2430 カラー無					F0000000104 00
	1	本			
鉄筋コンクリート管布設工 呼び径 900mm					SG1D0004001 00
	2.1	m			単第0 -0074 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール工					Y110302 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y11030208 レベル3
	1	式			
組立5号マンホール					Y1103020801 レベル4
	1	箇所			
組立5号マンホール 5号(内径2200mm) 深さ7m以下					V0015 00
	1	箇所			単第0 -0075 表
開口加工費 1001 ~ 1200					F0000000208 00
	1	箇所			
組立5号マンホール材料					Y1103020802 レベル4
	1	式			
雨水用人孔鉄蓋(デザイン入ロック式梯子付 600 T-25					F0000000206 00
	1	組			
変形防止調整金具					F0000000207 00
	1	箇所			
円形5号(内径2200) スラブ 900×2200×300					F0000000209 00
	1	個			



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形5号(内径2200) 管取付け壁 2200×2100	1	個			F0000000210 00
円形5号(内径2200) 底版	1	個			F0000000211 00
調整リング 100mm	2	個			TQ777 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×1500	1	個			TH003078 00
耐震可とう継手 推進管 1000用	2	個			F0000000105 00
組立箱型マンホール	2	箇所			Y1103020803レベル4
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	2	箇所			SG1D0053002 00
マンホールブロック据付 2t未満	3	箇所			単第0 -0076 表 V0016 00
					単第0 -0077 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホールブロック据付 2 t ~ 4 t	3	箇所			V0017 00 単第0 -0078 表
底部工 短形人孔	1	箇所			V0018 00 単第0 -0079 表
開口加工費 1001 ~ 1200	3	箇所			F000000208 00
組立箱型マンホール材料	1	式			Y1103020804レベル4
雨水用人孔鉄蓋 (デザイン入ロック式梯子付 600 T-25	2	組			F000000206 00
変形防止調整金具	2	箇所			F000000207 00
調整リング 100 mm	1	個			TQ777 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600 × 900 × 450	2	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900 × 900	1	個			TH003074 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 直壁 900×1200	1	個			TH003076 00
短形人孔 頂版 H=300	2	個			F000000212 00
短形人孔 M-2 管取付 H=1200	1	個			F000000213 00
短形人孔 M-2 管取付 H=900	1	個			F000000214 00
短形人孔 M-3 管取付 H=900	1	個			F000000215 00
短形人孔 M-3 管取付 H=900	1	個			F000000216 00
耐震可とう継手 推進管 1000用	1	個			F000000105 00
耐震可とう継手 推進管 900用	3	個			F000000106 00
補助地盤改良工	1	式			Y11030210 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薬液注入					Y1103021001レベル4
	1	式			
薬液注入工					SG1D0039001 00
	7	本			単第0 -0081 表
薬液注入工					SG1D0039001 00
	12	本			単第0 -0085 表
薬液注入工					SG1D0039001 00
	30	本			単第0 -0086 表
薬液注入工					SG1D0039001 00
	4	本			単第0 -0087 表
薬液注入工					SG1D0039001 00
	16	本			単第0 -0088 表
薬液注入工					SG1D0039001 00
	2	本			単第0 -0089 表
注入設備据付・解体工(地上)					SG1D0039002 00
	1	現場			単第0 -0090 表
立坑工 M-1					Y110302 レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工					Y11030201 レベル3
	1	式			
管路埋戻					Y1103020102レベル4
	1	式			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設					SPK19040150 00
	7	m3			単第0 -0023 表
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	13	m3			単第0 -0092 表
発生土処理					Y1103020103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(10t積級,機械積込み)					SG1E0003001 00
	46	m3			単第0 -0095 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
建設発生土受入費					F0000000218 00
	46	m3			
鋼製ケーシング式土留工及び土工					Y11030204 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製ケーシング圧入掘削					Y1103020401レベル4
	6.5	m			
圧入掘削積込み工 呼び径 3,000mm 粘性土 N<5 砂質土 N<30					V0019 00
	6.5	m			単第0 -0097 表
ケーシング溶接工 呼び径 3,000mm					V0020 00
	2	箇所			単第0 -0099 表
ケーシング引上げ工 呼び径 3,000mm					V0021 00
	1.2	m			単第0 -0101 表
ケーシング撤去工 呼び径 3,000mm					V0022 00
	1	箇所			単第0 -0102 表
底盤コンクリート					Y1103020402レベル4
	1	箇所			
底盤コンクリート打設工					SG1D0603001 00
	11	m3			単第0 -0105 表
圧入掘削設備					Y1103020403レベル4
	1	箇所			
機械設置撤去工 呼び径 3,000mm					V0023 00
	1	回			単第0 -0106 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械退避・再設置工 呼び径 3,000mm					V0024 00
	2	回			単第0 -0107 表
鋼製ケーシング存置					Y1103020404レベル4
	1	式			
刃先製作取付費 3000					F000000220 00
	1	個			
ケーシング 3000 t=22mm					F000000221 00
	5.4	m			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
スクラップ H1					F000000223 00
	3	t			
仮設ケーシング損料					Y1103020405レベル4
	1	式			
仮設ケーシング損料 3000					F000000222 00
	1	回			
立坑排水					Y1103020406レベル4
	1	箇所			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
うわ水排水工	1	箇所			SG1D0607001 00 単第0 -0108 表
排水運搬処理	1	箇所			Y1103020407レベル4
スライム処理工	1	箇所			SG1D0608001 00 単第0 -0109 表
建設汚泥運搬工 8t車 22.6km以下	3	m3			V0002 00 単第0 -0011 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
泥水処理費	3	m3			F0000000202 00
円形覆工板	1	箇所			Y1103020408レベル4
円形覆工板設置工 呼び径 3,000mm	1	箇所			V0025 00 単第0 -0110 表
円形覆工板撤去工 呼び径 3,000mm	1	箇所			V0026 00 単第0 -0111 表



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板開閉工 呼び径 3,000mm	6	回			V0027 00 単第0 -0112 表
円形覆工板賃料 3000	1	式			V0028 00 単第0 -0113 表
立坑工 M-2	1	式			Y110302 レベル2
管路土工	1	式			Y11030201 レベル3
管路掘削	1	式			Y1103020101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	27	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0114 表
発生土処理	1	式			Y1103020103 レベル4
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	86	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0116 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土受入費					F0000000218 00
	86	m3			
ライナープレート式土留工及び土工					Y11030203 レベル3
	1	式			
ガイドコンクリート					Y1103020301 レベル4
	1	式			
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設					SPK19040150 00
	1.4	m3			単第0 -0018 表
型枠 一般型枠 小型構造物					SPK19040152 00
	9.3	m2			単第0 -0019 表
構造物取壊 無筋構造物					Y1103010501 レベル4
	1	m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物)					SDT00031 00
	1	m3			単第0 -0020 表
殻運搬処理					Y1103040105 レベル4
	1	m3			
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.0km超)					SPK19040148 00
	1	m3			単第0 -0016 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻 無筋					F0000000204 00
	3	t			
ライナープレート掘削土留					Y1103020302レベル4
	4.7	m			
ライナープレート掘削土留工(機械掘削) 小判形 短径 2,500~3,000mm 最大掘削深 4.0mまで					SG1D0610002 00
	4.3	m			単第0 -0118 表
ライナープレート掘削土留工(機械掘削) 小判形 短径 2,500~3,000mm 最大掘削深 4.0mを超え8.0mまで					SG1D0610002 00
	0.4	m			単第0 -0121 表
グラウト注入					S0348 00
	5	m3			単第0 -0123 表
ライナープレート埋戻					Y1103020303レベル4
	46	m3			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	46	m3			単第0 -0124 表
ライナープレート撤去工 小判形 短径 2,000~5,000mm					SG1D0611001 00
	0.62	m			単第0 -0125 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ライナープレート存置					Y1103020305レベル4
	1	式			
短形ライナープレート 5090×3049 t=2.7mm					F0000000226 00
	3.5	m			
補強リング H150					F0000000227 00
	6	リング			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
スクラップ H1					F0000000223 00
	0.4	t			
立抗基礎工					Y1103020306レベル4
	1	式			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設					SPK19040150 00
	2.3	m3			単第0 -0023 表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40					SPK19040039 00
	16	m2			単第0 -0126 表
管路路面覆工					Y11030207 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
覆工					Y1103020701レベル4
	1	式			
覆工板・覆工板受桁設置撤去工 推進立坑 覆工板設置面積50m2以下					SG1D0038001 00
	35	m2			単第0 -0127 表
覆工板賃料					SHD10015 00
	35	m2			単第0 -0129 表
覆工板受桁及び覆工板受桁受賃料 設置面積700m2以下					SHD10017 00
	35	m2			単第0 -0130 表
覆工板開閉工 推進立坑 覆工板設置面積50m2以下					SG1D0038002 00
	665	m2・1回			単第0 -0131 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設					SPK19040150 00
	0.3	m3			単第0 -0018 表
型枠 一般型枠 小型構造物					SPK19040152 00
	1.2	m2			単第0 -0019 表
構造物取壊 無筋構造物					Y1103010501レベル4
	0.3	m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物)					SDT00031 00
	0.3	m3			単第0 -0020 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理					Y1103040105レベル4
	0.3	m3			
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.0km超)					SPK19040148 00
	0.3	m3			単第0 -0016 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻 無筋					F0000000204 00
	0.7	t			
付帯工					Y110304 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y11030401 レベル3
	1	式			
舗装版切断					Y1103040101レベル4
	25	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK19040309 00
	25	m			単第0 -0133 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cmを超え30cm以下					SPK19040309 00
	24	m			単第0 -0134 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎(小規模)					Y1103040103レベル4
	30	m2			
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK19040018 00
	12	m2			単第0 -0135 表
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK19040018 00
	18	m2			単第0 -0135 表
殻運搬処理					Y1103040105レベル4
	5	m3			
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(小規模土工) DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)					SPK19040148 00
	5	m3			単第0 -0136 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
再資源化施設受入費 アスファルト殻					F000000203 00
	12	t			
舗装復旧工					Y11030403 レベル3
	1	式			
下層路盤(市道部)					Y1103040303レベル4
	7	m2			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	7	m2			SPK19040235 00  単第0 -0137 表
上層路盤(市道部)	7	m2			Y1103040305レベル4
上層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	7	m2			SPK19040237 00  単第0 -0138 表
表層(市道部)	12	m2			Y1103040309レベル4
表層 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	12	m2			SPK19040246 00  単第0 -0139 表
下層路盤(国道部)	13	m2			Y1103040303レベル4
下層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	13	m2			SPK19040235 00  単第0 -0140 表
上層路盤(国道部)	13	m2			Y1103040305レベル4
上層路盤 全仕上り厚150mm 1層施工 RM-30	13	m2			SPK19040237 00  単第0 -0141 表



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(国道部)	18	m2			Y1103040305レベル4
上層路盤 再生瀝青安定処理材 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下	18	m2			SPK19040236 00 単第0 -0142 表
基層(国道部)	18	m2			Y1103040307レベル4
基層 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	18	m2			SPK19040244 00 単第0 -0143 表
中間層(国道部)	18	m2			Y1103040309レベル4
中間層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	18	m2			SPK19040242 00 単第0 -0144 表
表層(国道部)	18	m2			Y1103040308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	18	m2			SPK19040243 00 単第0 -0145 表
ブロック舗装撤去(インターロッキング)	22	m2			Y1103040314レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m2未満	22	m2			SS000117 00  単第0 -0146 表
ブロック舗装(インターロッキング)	22	m2			Y1103040314レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満	22	m2			SS000115 00  単第0 -0147 表
路盤(歩道部)	22	m2			Y1103040303レベル4
路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	22	m2			SPK19040235 00  単第0 -0148 表
フィルター層 平均厚さ40mm以上60mm未満 再生砂	22	m2			SPK19040250 00  単第0 -0149 表
区画線工	1	式			Y11030405 レベル3
溶融式区画線	5	m			Y1103040501レベル4
区画線設置(溶融式)	2	m			SDT00001 00  単第0 -0150 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式)					SDT00001 00
	3	m			単第0 -0151 表
道路付属物撤去工					Y11030406 レベル3
	1	式			
暗渠排水管設置撤去					Y1103040605 レベル4
	3	m			
暗渠排水管 据付・撤去 直管 200~400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm					SPK19040089 00
	3	m			単第0 -0152 表
歩車道境界ブロック設置撤去					Y1103040618 レベル4
	4	m			
歩車道境界ブロック 歩道接続部(180/204×120×600) 再利用設置 RC-40					SPK19040289 00
	4	m			単第0 -0153 表
歩車道境界ブロック撤去 再利用					SPK19040291 00
	4	m			単第0 -0154 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	157	人			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員A	70	人			R0368 00
交通誘導警備員B	87	人			R0369 00
<b>** 直接工事費 **</b> #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
<b>** 共通仮設費計 **</b>					
<b>** 純工事費 **</b>					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....		率補正率.....			
**工事原価**					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事費計**					
**契約保証費計**					



# 施工単価表

坑内作業工

SG1D0108002

単第0 -0002 表

頁0 -0037

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル特殊工	1.0	人			
トンネル作業員	2.0	人			
滑材 スムーズエース	259.200	L			96*2.7
電力料	38.8	kwh			
機械器具損料	1	式			単第0-0003 表
諸雑費	1	式			
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 1,000mm C=1 2,000kN F=2 電力料【登録単価CODE】(kWh)			B=1 砂質土・粘性土 元押し E=1 滑材【登録単価CODE】(L) G=3 刃口損料【登録単価CODE】(m)		
H=4 押輪損料【登録単価CODE】(m) J=6 ジャッキ台損料【登録単価CODE】(m) L=8 推進台損料【登録単価CODE】(m)			I=5 ストラット支持板損料【登録単価CODE】(m) K=7 押角損料【登録単価CODE】(m) M=9 ストラット単体損料【登録単価CODE】(m)		
N=10 【F】(元押し)油圧ジャッキ損料(日) Q=12 【F】(元押し)油圧ポンプ損料(日) W=14 (転倒式)トロバケット損料【登C】(m)			P=11 分流器損料【登録単価CODE】(日) T=13 高圧ホース損料【登録単価CODE】(m) Z=15 トロ用車輪損料【登録単価CODE】(m)		





# 施工単価表

機械器具損料

SG1G0108002

単第0 -0003 表

頁0 -0039

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
坑内作業工(推進工関係)機械器具損料 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 元押し	1	式			単第0-0004 表
坑内作業工(推進工元押し関係)機械器具損料 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 元押し	1	式			単第0-0005 表
坑内作業工(坑内発生土搬出工)機械器具損料 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 元押し	1	式			単第0-0006 表
坑内作業工(滑材注入)機械器具損料 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 元押し	1	式			単第0-0007 表
坑内作業工(滑材注入)機械器具損料 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 元押し	1	式			単第0-0008 表
*** 単位当たり ***	1	式			
A=3 呼び径 1,000mm C=1 2,000kN F=4 押輪損料【登録単価CODE】(m)			B=1 砂質土・粘性土 元押し E=3 刃口損料【登録単価CODE】(m) G=5 ストラット支持板損料【登録単価CODE】(m)		
H=6 ジャッキ台損料【登録単価CODE】(m) J=8 推進台損料【登録単価CODE】(m) L=10 【F】(元押し)油圧ジャッキ損料(日)			I=7 押角損料【登録単価CODE】(m) K=9 ストラット単体損料【登録単価CODE】(m) N=11 分流器損料【登録単価CODE】(日)		
O=12 【F】(元押し)油圧ポンプ損料(日) U=14 (転倒式)トロバケット損料【登C】(m) Y=16 グラウトポンプ損料【登録単価CODE】(日)			R=13 高圧ホース損料【登録単価CODE】(m) X=15 トロ用車輪損料【登録単価CODE】(m) Z=17 グラウトミキサ損料【登録単価CODE】(日)		
27=18 ミキシングプラント損料【登C】(日) 29=20 グラウト孔用バルブ等損料【登C】(日)			28=19 グラウトホース損料【登録単価CODE】(日)		

# 施工単価表

坑内作業工(推進工関係)機械器具損料  
呼び径 1,000mm

SG1L0108009  
砂質土・粘性土 元押し

単第0 -0004 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
刃口	2.7	推m			
押輪	2.7	推m			
ストラット支持板	2.7	推m			
ジャッキ台	2.7	推m			
押角	2.7	推m			
推進台	2.7	推m			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=3 呼び径 1,000mm C=3 刃口損料【登録単価CODE】(m) E=5 ストラット支持板損料【登録単価CODE】(m) G=7 押角損料【登録単価CODE】(m)			B=1 砂質土・粘性土 元押し D=4 押輪損料【登録単価CODE】(m) F=6 ジャッキ台損料【登録単価CODE】(m) H=8 推進台損料【登録単価CODE】(m)		

# 施工単価表

坑内作業工(推進工元押し関係)機械器具損料  
呼び径 1,000mm

SG1L0108010

単第0 -0005 表

砂質土・粘性土 元押し

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ストラット単体 2000kN	2.7	推m			
油圧ジャッキ 500kN 500st	1	供用日			
分流器 4連	1	供用日			
油圧ポンプ 3.7kw	1	供用日			
高圧ホース 9	2.7	推m			
ギヤー油工業用1種 油圧作動油・循環給油用 ドラム缶	2.700	L			1*2.7
*** 単位当たり ***	1	式			
A=3 呼び径 1,000mm C=1 2,000kN E=10 油圧ジャッキ損料【登録単価CODE】(日) G=12 油圧ポンプ損料【登録単価CODE】(日)			B=1 砂質土・粘性土 元押し D=9 ストラット単体損料【登録単価CODE】(m) F=11 分流器損料【登録単価CODE】(日) H=13 高圧ホース損料【登録単価CODE】(m)		





# 施工単価表

坑内作業工(滑材注入)機械器具損料  
呼び径 1,000mm

SG1L0108014  
砂質土・粘性土 元押し

単第0 -0008 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
グラウトホース 38	1	日			
グラウト孔用バルブ等	1	日			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=3 呼び径 1,000mm C=19 グラウトホース損料【登録単価CODE】(日)			B=1 D=20	砂質土・粘性土 元押し グラウト孔用バルブ等損料【登C】(日)	

# 施工単価表

坑外作業工

SG1D0108003

単第0 -0009 表

頁0 -0045

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
電力料	4.2	kwh			
機械器具損料	1	式			単第0-0010 表
諸雑費	1	式			
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 1,000mm C=2 電力料【登録単価CODE】(kWh)			B=1 砂質土・粘性土 元押し D=21 クレーン損料【登録単価CODE】(日)		









# 施工単価表

裏込注入工  
刃口推進

SG1D0109001

単第0 -0013 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル作業員	2.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	2.0	人			
注入材料 セメント500kg ทราย250kg 灰土100kg 微砂	4,680.000	L			156*30 ;V0003参照
電力料	28.9	kwh			
機械器具損料	1	式			単第0-0014 表
諸雑費	4	%			#09
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 1,000mm C=113 注入材料【登録単価CODE】(L) E=16 グラウトポンプ損料【登録単価CODE】(日) G=18 ミキシングプラント損料【登C】(日)			B=1 昼間施工 D=2 電力料【登録単価CODE】(kWh) F=17 グラウトミキサ損料【登録単価CODE】(日)		





# 施工単価表

殻運搬

SPK19040148

単第0 -0016 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込

DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 48.90% 労務構成比:

36.46% 材料構成比: 14.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

875.83000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	48.90%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	36.46%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.64%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 全ての費用		B=1 D=14	機械積込 運搬距離3.0km以下(2.0km超)	

# 施工単価表

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0017 表

小型構造物 コンクリート(各種)

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

41.30%

材料構成比:

58.70%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

25,109.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
無収縮モルタル	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F000000114 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 C=4 F=1 J=1	小型構造物 コンクリート(各種) 養生無し -		B=3 D=114 H=2 K=1	人力打設 【F】コンクリート(m3) 現場内小運搬無し 全ての費用	

# 施工単価表

頁0 -0054

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0018 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.66%

労務構成比:

39.75%

材料構成比: 55.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

27,490.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.40%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	12.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	6.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	53.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.84%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

型枠

SPK19040152

単第0 -0019 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,449.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.50%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 一般型枠 全ての費用			B=2 小型構造物		



# 施工単価表

クレーン設備工  
刃口推進

SG1D0113001

単第0 -0021 表

呼び径 800~1,100mm

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	5.0	人			
電工	0.5	人			
普通作業員	5.0	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	2.0	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 800~1,100mm					

# 施工単価表

坑口工  
刃口推進

SG1D0114001

単第0 -0022 表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.08	人			
普通作業員	0.80	人			
発進抗口 1000用	1	個			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.17	m3			単第0-0023 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	6.13	m2			単第0-0024 表
構造物とりこわし工(無筋構造物)	1.17	m3			単第0-0025 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 呼び径 1,000mm C=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 G=2 一般養生			B=107 D=2 J=1	【F】ゴムリング(組) 18-8-40BB -	
K=1 無筋コンクリート M=1 機械施工 O=1 時間的制約なし			L=1 N=1	昼間施工 -	

# 施工単価表

頁0 -0060

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0023 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.78%

労務構成比:

37.76%

材料構成比:

57.46%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

26,831.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.51%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.46%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠

SPK19040152

単第0 -0024 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,254.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.76%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.08%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 一般型枠 全ての費用			B=1 鉄筋・無筋構造物		









# 施工単価表

推進設備工  
刃口推進

SG1D0115001

単第0 -0028 表

呼び径 1,000mm

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	3.50	人			
土木一般世話役	2.00	人			
特殊作業員	2.50	人			
普通作業員	5.00	人			
電力料	24.6	kwh			
床板材	0.120	m3			0.36/3
走行式門型クレーン 1 2 m揚程	3.5	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 呼び径 1,000mm C=22 床板材【登録単価CODE】(m3)			B=2 D=21	電力料【登録単価CODE】(kWh) 機械器具損料【登録単価CODE】(日)	



# 施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去  
設置

S1050039

単第0 -0030 表

10

t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.700	日			
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

# 施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去  
撤去

S1050039

単第0 -0031 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.000	日			
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		





# 施工単価表

切羽作業工

SG1D0411Z01

単第0 -0033 表

呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土

昼間施工

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル特殊工	1.0	人			
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 1,000mm C=1 -			B=1 砂質土・粘性土 E=1 昼間施工		

# 施工単価表

坑内作業工

SG1D0411002

単第0 -0034 表

呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土

昼間施工

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
坑内作業工 呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土 昼間施工	1	m			単第0-0035 表
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 1,000mm			B=1 砂質土・粘性土		
C=1 -			E=1 昼間施工		
F=1 滑材【登録単価CODE】(L)			H=115 粉末粘土【登録単価CODE】(kg)		
I=116 増粘剤【登録単価CODE】(kg)			J=117 目詰材【登録単価CODE】(kg)		
K=118 水【登録単価CODE】(kg)					

# 施工単価表

坑内作業工

SG1D0411Z02

単第0 -0035 表

呼び径 1,000mm 砂質土・粘性土

昼間施工

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル特殊工	1.0	人			
トンネル作業員	1.0	人			
滑材 スムーズエース	523.600	L			77*6.8
高濃度泥水	4.148	m3			単第0-0036 表 0.61*6.8
諸雑費	5	%			#09
1m当り(計/推進日進量)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 1,000mm C=1 - F=1 滑材【登録単価CODE】(L)			B=1 砂質土・粘性土 E=1 昼間施工 H=115 粉末粘土【登録単価CODE】(kg) J=117 目詰材【登録単価CODE】(kg)		
I=116 増粘剤【登録単価CODE】(kg) K=118 水【登録単価CODE】(kg)					







# 施工単価表

機械器具損料(1)

SG1L0411012

単第0 -0039 表

頁0 -0077

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
掘進機本体 1000	35.000	供用日			1*35
掘進機本体修理費 1000	1	現場			
姿勢検出装置	35.000	供用日			1*35
電動ホイスト	23.000	運転日			1*23
電動ホイスト	35.000	供用日			1*35
走行式門型クレーン 12m揚程	35.000	供用日			1*35
アクロバットジャッキ 1000kN×4台 油圧ユニット含む	35.000	供用日			1*35
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37~100L/min	23.000	日			1*23
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37~100L/min	35.000	供用日			1*35
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1	23.000	日			1*23
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1	35.000	供用日			1*35
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37~100L/min	23.000	日			1*23

# 施工単価表

機械器具損料(1)

SG1L0411012

単第0 -0039 表

頁0 -0078

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37~100L/min	35.000	供用日			1*35
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1	23.000	日			1*23
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1	35.000	供用日			1*35
*** 単位当たり ***	1	式			
A=2 機械器具損料 F=35 掘進機供用日数(日) H=120 掘進機1現場当り修理費【登C】(現場)			B=3 呼び径 1,000mm G=119 掘進機損料【登録単価CODE】(供用日) J=2 姿勢検出装置を計上する場合		
L=35 姿勢検出装置供用日数(日) Q=23 電動ホイスト運転日数(日) S=122 電動ホイスト損料【登録単価CODE】(運転日)			M=121 姿勢検出装置損料【登録単価CODE】(供用日) R=35 電動ホイスト供用日数(日) T=123 電動ホイスト損料【登録単価CODE】(供用日)		
V=35 門型クレーン供用日数(日) Y=35 多段ジャッキ供用日数(日) 28=23 グラウトポンプ(滑材)運転日数(日)			W=21 門型クレーン損料【登録単価CODE】(供用日) Z=124 多段ジャッキ損料【登録単価CODE】(供用日) 29=35 グラウトポンプ(滑材)供用日数(日)		
30=23 グラウトミキサ(滑材)運転日数(日) 32=23 グラウトポンプ(裏込)運転日数(日) 34=23 グラウトミキサ(裏込)運転日数(日)			31=35 グラウトミキサ(滑材)供用日数(日) 33=35 グラウトポンプ(裏込)供用日数(日) 35=35 グラウトミキサ(裏込)供用日数(日)		



# 施工単価表

機械器具損料(2)

SG1L0411013

単第0 -0040 表

頁0 -0079

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
空気圧縮機 1.4m <sup>3</sup> /min	23.000	運転日			1*23
空気圧縮機 1.4m <sup>3</sup> /min	35.000	供用日			1*35
吸泥排土装置 30m <sup>3</sup> /分 55kw	23.000	運転日			1*23
吸泥排土装置 30m <sup>3</sup> /分 55kw	35.000	供用日			1*35
グラウトポンプ(高濃度泥水) 1.4MPa	70.000	供用日			2*35
グラウトミキサ(高濃度泥水) 500L×3	105.000	供用日			3*35
給水ポンプ	23.000	運転日			1*23
給水ポンプ	35.000	供用日			1*35
流量管理装置(高濃度泥水)	23.000	運転日			1*23
流量管理装置(高濃度泥水)	35.000	供用日			1*35
制御装置(高濃度泥水)	35.000	供用日			1*35
排土コンテナタンク 0.7m <sup>3</sup>	35.000	供用日			1*35

# 施工単価表

機械器具損料(2)

SG1L0411013

単第0 -0040 表

頁0 -0080

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排土貯泥槽 20m3	35.000	供用日			1*35
給水タンク 3m3	35.000	供用日			1*35
*** 単位当たり ***	1	式			
A=2 機械器具損料 E=23 コンプレッサ運転日数(日) G=125 コンプレッサ損料【登録単価CODE】(運転日)			B=3 呼び径 1,000mm F=35 コンプレッサ供用日数(日) H=126 コンプレッサ損料【登録単価CODE】(供用日)		
I=23 吸泥排土設備運転日数(日) K=127 吸泥排土設備損料【登録単価CODE】(運転日) N=35 グラウトポンプ(高濃度泥水)供用日数(日)			J=35 吸泥排土設備供用日数(日) L=128 吸泥排土設備損料【登録単価CODE】(供用日) O=129 グラウトポンプ(高濃度)損料【登C】(供用日)		
Q=35 グラウトミキサ(高濃度泥水)供用日数(日) S=23 給水ポンプ運転日数(日) U=131 給水ポンプ損料【登録単価CODE】(運転日)			R=130 グラウトミキサ(高濃度)損料【登C】(供用日) T=35 給水ポンプ供用日数(日) V=132 給水ポンプ損料【登録単価CODE】(供用日)		
Y=23 流量管理装置(高濃度泥水)運転日数(日) 27=133 流量管理装置損料【登録単価CODE】(運転日) 29=35 制御装置(高濃度泥水・滑材)供用日数(日)			Z=35 流量管理装置(高濃度泥水)供用日数(日) 28=134 流量管理装置損料【登録単価CODE】(供用日) 30=135 制御装置損料【登録単価CODE】(供用日)		
31=35 排土コンテナタンク供用日数(日) 33=35 排土貯留槽供用日数(日) 35=35 給水タンク供用日数(日)			32=136 排土コンテナタンク損料【登C】(供用日) 34=137 排土貯留槽損料【登録単価CODE】(供用日) 36=138 給水タンク損料【登録単価CODE】(供用日)		

1 式 当り

# 施工単価表

機械器具損料(3)

SG1L0411023

単第0 -0041 表

頁0 -0081

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排土管 125	4,452.000	供用日 m			127.2*35
排土管 125	127.200	現場 m			
サクシヨンホース 127	850.500	供用日 m			24.3*35
サクシヨンホース 127	24.300	現場 m			
高濃度泥水ホース 25	5,302.500	供用日 m			151.5*35
高濃度泥水ホース	151.500	現場 m			
エア－ホース 19	3,076.500	運転日 m			87.9*35
*** 単位当たり ***	1	式			
A=3 呼び径 1,000mm C=24.3 坑外配管距離[地上配管距離+立坑配管距離] E=139 排土管損料【登録単価CODE】(供用日・m) G=35 サクシヨンホース供用日数(日) I=142 サクシヨンホース損料【登C】(現場・m) K=143 高濃度泥水ホース損料【登C】(供用日・m) M=35 エア－ホース運転日数(日)			B=127.2 D=35 F=140 H=141 J=35 L=144 N=145	管内配管距離(推進延長-掘進機長) 排土管供用日数(日) 排土管損料【登録単価CODE】(現場・m) サクシヨンホース損料【登C】(供用日・m) 高濃度泥水ホース供用日数(日) 高濃度泥水ホース損料【登C】(現場・m) エア－ホース損料【登C】(運転日・m)	



# 施工単価表

裏込注入工  
泥水式・泥濃式推進

SG1D0109002

単第0 -0042 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル作業員	2.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	2.0	人			
注入材料 セメント500kg ทราย250kg 灰100kg 微砂	2,772.000	L			77*36
諸雑費	3	%			;V0003参照 #09
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 砂質土・粘性土 C=1 元押 昼間施工			B=3 呼び径 1,000mm D=113 注入材料【登録単価CODE】(L)		



# 施工単価表

モルタル練  
高炉

SPK19040151

単第0 -0044 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

混合比1:2

61.10%

材料構成比:

38.90%

市場単価構成比:

0.00%

1  
標準単価:

m3 当り  
42,987.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	61.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	29.14%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.76%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 全ての費用			B=2 混合比1:2		

# 施工単価表

鉄筋コンクリート管布設工  
呼び径 1,000mm

SG1D0004001

単第0 -0045 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.45	人			
特殊作業員	0.90	人			
普通作業員	1.35	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.45	日			
諸雑費	1	%			#09
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=12 呼び径 1,000mm					







# 施工単価表

鋼材設置工

V0010

単第0 -0048 表

頁0 -0089

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.7	人			
特殊作業員	3.2	人			
溶接工	1.7	人			
普通作業員	1.7	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.7	日			
雑材料	4	%			#01
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			

# 施工単価表

鋼材撤去工

V0011

単第0 -0049 表

頁0 -0090

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1.9	人			
溶接工	1	人			
普通作業員	1	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1	日			
雑材料	6	%			#01
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			



# 施工単価表

クレーン設備工  
泥水式・泥濃式推進

SG1D0113002

単第0 -0051 表

呼び径 800~1,100mm

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
特殊作業員	6.0	人			
電工	4.5	人			
普通作業員	7.5	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.5	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 800~1,100mm					



# 施工単価表

鋼材溶接工

SG1E0098001

単第0 -0053 表

頁0 -0094

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.010	人			
溶接工	0.076	人			
普通作業員	0.021	人			
電力料	2.7	kwh			
被覆アーク溶接棒 高張力鋼用(JISZ3211)E4916 棒径5.0mm	0.4	kg			
電気溶接機 交流アーク式(手動・電撃防止器内蔵型) 定格電流250A	0.076	日			
諸雑費	30	%			#09
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 電力料【登録単価CODE】(kWh)					









# 施工単価表

推進用機器据付撤去工  
泥水式・泥濃式推進

SG1D0119001

単第0 -0057 表

呼び径 800~1,100mm

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	4.0	人			
普通作業員	4.0	人			
門型クレーン運転費	2.0	日			単第0-0058 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 800~1,100mm D=2 電力料【登録単価CODE】(kWh)			B=1 E=21	-	門型クレーン損料【登録単価CODE】(日)













# 施工単価表

換気設備工

SG1D0126001

単第0 -0063 表

泥水式・泥濃式推進 泥濃式推進

呼び径 1,000mm

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.455	人			145.5*0.01
配管工	1.455	人			145.5*0.01
普通作業員	1.455	人			145.5*0.01
鋼管損料	1	式			単第0-0064 表
諸雑費	30	%			#09
換気ファン損料	1	式			単第0-0065 表
換気ファン電力料	1	式			単第0-0066 表
*** 単位当たり ***	1	式			
A=10 吸気箇所から立坑上までの延長(m) C=131.2 推進延長(m) E=2 泥濃式推進			B=4.3 立坑上から推進管管底までの延長(m) D=157 鋼管100m供用1日当り損料【登C】(供用日) F=3 呼び径 1,000mm		
G=1 砂質土・粘性土 K=1.5 供用日の割増率( ) M=156 換気ファン損料【登録単価CODE】(供用日)			I=1 - L=156 換気ファン損料【登録単価CODE】(運転日) N=2 換気ファン電力料金【登録単価CODE】(kW)		
O=2 1方編成作業					

























# 施工単価表

鉄筋コンクリート管布設工  
呼び径 900mm

SG1D0004001

単第0 -0074 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.43	人			
特殊作業員	0.86	人			
普通作業員	1.29	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.43	日			
諸雑費	1	%			#09
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=11 呼び径 900mm					













# 施工単価表

モルタル練  
高炉

SPK19040151

単第0 -0080 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

混合比1:3

61.59%

材料構成比: 38.41%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m3 当り  
36,083.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	61.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	25.55%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	12.86%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 全ての費用			B=3 混合比1:3		

# 施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0081 表

頁0 -0123

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.160	人			
特殊作業員	0.480	人			
普通作業員	0.320	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	1,409.143	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.320	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.320	日			
削孔消耗材料費	3.348	m			単第0-0082 表
削孔消耗材料費	2.100	m			単第0-0083 表
注入消耗材料費	1.409	kL			単第0-0084 表 1409.143/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=3.348 砂質土の削孔長(m) E=9.864 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.1 粘性土の削孔長(m) F=7 注入本数(本)		











# 施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0085 表

頁0 -0128

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.179	人			
特殊作業員	0.538	人			
普通作業員	0.359	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	1,663.167	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.359	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.359	日			
削孔消耗材料費	3.614	m			単第0-0082 表
削孔消耗材料費	2.100	m			単第0-0083 表
注入消耗材料費	1.663	kL			単第0-0084 表 1663.167/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=3.614 砂質土の削孔長(m) E=19.958 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.1 粘性土の削孔長(m) F=12 注入本数(本)		



# 施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0086 表

頁0 -0130

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.188	人			
特殊作業員	0.564	人			
普通作業員	0.376	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	1,752.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.376	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.376	日			
削孔消耗材料費	3.877	m			単第0-0082 表
削孔消耗材料費	2.100	m			単第0-0083 表
注入消耗材料費	1.752	kL			単第0-0084 表 1752/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=3.877 砂質土の削孔長(m) E=52.56 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.1 粘性土の削孔長(m) F=30 注入本数(本)		



# 施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0087 表

頁0 -0132

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.123	人			
特殊作業員	0.370	人			
普通作業員	0.247	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	693.250	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.247	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.247	日			
削孔消耗材料費	3.614	m			単第0-0082 表
削孔消耗材料費	2.809	m			単第0-0083 表
注入消耗材料費	0.693	kL			単第0-0084 表 693.25/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=3.614 砂質土の削孔長(m) E=2.773 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.809 粘性土の削孔長(m) F=4 注入本数(本)		



# 施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0088 表

頁0 -0134

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.112	人			
特殊作業員	0.337	人			
普通作業員	0.225	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	620.813	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.225	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.225	日			
削孔消耗材料費	3.877	m			単第0-0082 表
削孔消耗材料費	2.100	m			単第0-0083 表
注入消耗材料費	0.621	kL			単第0-0084 表 620.813/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=3.877 砂質土の削孔長(m) E=9.933 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.1 粘性土の削孔長(m) F=16 注入本数(本)		





# 施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0089 表

頁0 -0136

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.147	人			
特殊作業員	0.441	人			
普通作業員	0.294	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	1,325.500	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.294	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.294	日			
削孔消耗材料費	2.627	m			単第0-0082 表
削孔消耗材料費	2.100	m			単第0-0083 表
注入消耗材料費	1.326	kL			単第0-0084 表 1325.5/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=2.627 砂質土の削孔長(m) E=2.651 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.1 粘性土の削孔長(m) F=2 注入本数(本)		







# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0092 表

頁0 -0140

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
購入土砂(ほぐし)	133.000	m3			
機-01_バックホウ運転 123_標準型 クレーン 排2 山積0.8m3(平積0.6m3)	4.5	時間			単第0-0093 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0094 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=3 山積0.8m3 C=5 埋戻土(各種) E=133 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2 D=217		土留めを伴う掘削の場合 【F】埋戻土各種(m3)



# 施工単価表

タンバ締固め

SPK19040020

単第0 -0094 表

1

m3 当り

機械構成比: 1.45% 労務構成比: 97.12% 材料構成比: 1.43% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,340.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンバ(ランマ) 質量60~80kg	1.45%		タンバ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.43%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 全ての費用					





# 施工単価表

ダンプトラック運転  
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0096 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	62.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=5 10t積級 D=62 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

# 施工単価表

圧入掘削積込み工  
呼び径 3,000mm

V0019  
粘性土 N<5 砂質土 N<30

単第0 -0097 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.316	人			
特殊作業員	0.316	人			
普通作業員	0.633	人			
揺動圧入機損料 3000	1.9	時間			
機-01_ドラグライン及びクラムシェル運転 061_油圧クラムシェル テレスコピック バケット容量(平積0.6m3)	1.187	時間			単第0-0098 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.316	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			







# 施工単価表

ケーシング引上げ工  
呼び径 3,000mm

V0021

単第0 -0101 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.85	人			
特殊作業員	0.85	人			
普通作業員	1.7	人			
揺動圧入機損料 3000	6.8	時間			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.85	日			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			









# 施工単価表

底盤コンクリート打設工

SG1D0603001

単第0 -0105 表

頁0 -0153

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.26	人			
特殊作業員	0.26	人			
普通作業員	0.52	人			
レディミクストコンクリート 30-18-20	10.4	m3			
諸雑費	2	%			#09
1m3当り					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 地下水位以下等の場合 C=1 -			B=219	水中コンクリート【登C】(m3)	

























# 施工単価表

ダンプトラック運転  
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0117 表

1

日 当り

4t積級

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	34.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      011_オンロード ディーゼル C=1      運転労務数量(人/日) E=1.29   機械損料数量(供用日/日)			B=2      4t積級 D=34     燃料消費量(L/日) F=1      路面状況:良好		

# 施工単価表

ライナープレート掘削土留工(機械掘削)  
小判形 短径 2,500~3,000mm

SG1D0610002

単第0 -0118 表

最大掘削深 4.0mまで

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.800	人			
トンネル特殊工	3.200	人			
普通作業員	0.800	人			
機-18_バックホウ(クローラ型)運転 112_標準型 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	0.80	日			単第0-0119 表
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.80	日			単第0-0120 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=4 C=1 小判形 短径 2,500~3,000mm 最大掘削深 4.0mまで			B=1	砂質土及び粘性土	







# 施工単価表

ライナープレート掘削土留工(機械掘削)

SG1D0610002

単第0 -0121 表

小判形 短径 2,500~3,000mm

最大掘削深 4.0mを超え8.0mまで

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.800	人			
トンネル特殊工	3.200	人			
普通作業員	0.800	人			
機-18_ドラグライン及びクラムシェル運転 061_油圧クラムシェル テレスコピック バケット容量(平積0.4m3)	0.80	日			単第0-0122 表
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.80	日			単第0-0120 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=4 C=2 小判形 短径 2,500~3,000mm 最大掘削深 4.0mを超え8.0mまで			B=1	砂質土及び粘性土	





# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0124 表

頁0 -0172

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
購入土砂(ほぐし)	133.000	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0115 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0094 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 D=217 【F】埋戻土各種(m3)			C=5 埋戻土(各種) E=133 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)		



# 施工単価表

基礎砕石

SPK19040039

単第0 -0126 表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.14% 労務構成比:

66.93%

材料構成比: 28.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,086.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.12%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.16%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	7.85%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	26.51%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.41%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

覆工板・覆工板受桁設置撤去工  
推進立坑 覆工板設置面積50m2以下

SG1D0038001

単第0 -0127 表

1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.45	人			
とび工	6.90	人			
溶接工	3.45	人			
普通作業員	3.45	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.45	日			単第0-0128 表
諸雑費	9	%			#09
1m2当り					
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 山積0.28m3 クレーン付1.7t吊			B=1 設置		











# 施工単価表

舗装版切断

SPK19040309

単第0 -0133 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.42%

労務構成比:

53.37%

材料構成比: 40.21%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

547.25000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm	4.34%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.48%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	37.36%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

舗装版切断

SPK19040309

単第0 -0134 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cmを超え30cm以下

1

m 当り

機械構成比: 12.00%

労務構成比:

38.42%

材料構成比: 49.58%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,345.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径75cm	8.11%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径75cm		MTPC00057 MTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	13.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	5.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)	22.18%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)		TTPC00016 TTPT00016
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	15.20%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
コンクリートカッタブレード 手動式切断機用 径35cm(14インチ)	9.29%		コンクリートカッタブレード 径14インチ		TTPC00344 TTPT00344



# 施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK19040018

単第0 -0135 表

頁0 -0186

機械構成比: 24.57% 労務構成比: 67.61% 材料構成比: 7.82% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,467.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	24.57%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	67.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 全ての費用					

# 施工単価表

殻運搬

SPK19040148

単第0 -0136 表

舗装版破碎 機械積込(小規模土工)

DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.75% 労務構成比:

69.90%

材料構成比: 9.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,812.50000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.35%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 全ての費用			B=5 機械積込(小規模土工) D=15 運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

# 施工単価表

下層路盤  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040235

単第0 -0137 表

機械構成比: 6.39% 労務構成比:

RC-30

69.63%

材料構成比: 23.98%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
691.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.31%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.90%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.60%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30~0mm	22.04%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

下層路盤  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040235

単第0 -0137 表

RC-30  
機械構成比: 6.39% 労務構成比: 69.63% 材料構成比: 23.98% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 691.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) 全ての費用			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040237

単第0 -0138 表

機械構成比: 5.85% 労務構成比:

RM-30

63.78%

材料構成比: 30.37%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
754.90000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.03%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.65%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	28.59%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

上層路盤  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040237

単第0 -0138 表

機械構成比: 5.85% 労務構成比:

RM-30

63.78%

材料構成比: 30.37%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
754.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) 全ての費用			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0192

表層

SPK19040246

単第0 -0139 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.54% 労務構成比:

48.56%

材料構成比: 50.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,938.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.37%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.09%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	16.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	45.02%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.75%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

表層

SPK19040246

単第0 -0139 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.54% 労務構成比:

48.56%

材料構成比: 50.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,938.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.07%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 全ての費用			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

下層路盤  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040235

単第0 -0140 表

機械構成比: 6.39% 労務構成比:

RC-40

69.63%

材料構成比: 23.98%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
691.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.31%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.90%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.60%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	22.04%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

下層路盤  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040235

単第0 -0140 表

RC-40  
機械構成比: 6.39% 労務構成比: 69.63% 材料構成比: 23.98% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 691.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) 全ての費用			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0196

上層路盤

SPK19040237

単第0 -0141 表

全仕上り厚150mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.85% 労務構成比:

63.78%

材料構成比: 30.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

754.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.03%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.65%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	28.59%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

上層路盤  
全仕上り厚150mm 1層施工

SPK19040237

単第0 -0141 表

機械構成比: 5.85%    労務構成比: 63.78%    材料構成比: 30.37%    市場単価構成比: 0.00%    標準単価: 1 m2 当り 754.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150    全仕上り厚(mm) D=1       全ての費用			B=1       RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0198

上層路盤

SPK19040236

単第0 -0142 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下

1

m2 当り

機械構成比: 0.40%

労務構成比:

37.06%

材料構成比: 62.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,292.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.11%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト安定処理路盤材	59.03%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚80mm		TTPCD0025 TTPT00356
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	3.38%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026



# 施工単価表

上層路盤  
再生瀝青安定処理材

SPK19040236

単第0 -0142 表

平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下

1

m2 当り

機械構成比: 0.40% 労務構成比:

37.06% 材料構成比: 62.54% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,292.50000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.02%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 再生瀝青安定処理材 D=100 1層当り平均仕上り厚(mm) H=1 -(全ての費用)			C=2 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下 F=2 PK-3		
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0200

基層

SPK19040244

単第0 -0143 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

45.59%

材料構成比: 53.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,064.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.08%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.65%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	51.93%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.84%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

# 施工単価表

基層

SPK19040244

単第0 -0143 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

45.59%

材料構成比: 53.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,064.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.07%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 全ての費用			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0202

中間層(車道・路肩部)

SPK19040242

単第0 -0144 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.57% 労務構成比:

46.94%

材料構成比: 52.49%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,202.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.33%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.16%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.06%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生改質II型粗粒度(20)	50.58%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0050 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.72%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

# 施工単価表

中間層(車道・路肩部)

SPK19040242

単第0 -0144 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.57% 労務構成比:

46.94%

材料構成比: 52.49%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,202.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=15 改質As 再生粗粒 II型(20) DS5000 G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK19040243

単第0 -0145 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.53% 労務構成比:

43.81%

材料構成比: 55.66%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,359.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 改質II型密粒度(20)	53.87%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0044 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.61%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK19040243

単第0 -0145 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.53% 労務構成比:

43.81%

材料構成比:

55.66%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,359.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=10 改質As 密粒 II型(20) DS3000 G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					





# 施工単価表

インターロッキングブロック工(設置)  
直線配置

SS000115  
ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満

単第0 -0147 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設置【材工共】 直線配置 厚6cm	1.000	m2			
標準ブロック 厚60mm	-1.020	m2			
インターロッキング再利用品	1.020	m2			
再生砂	0.039	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 直線配置 C=2 特殊品 E=2 再生砂 I=2 [規]100m2未満			B=1 ブロック厚6cm D=228 特殊品材料単価【登録単価CODE】(m2) H=0.03 敷材料の厚さ(m) K=1 -		

# 施工単価表

頁0 -0208

路盤

SPK19040235

単第0 -0148 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 6.39% 労務構成比:

69.63%

材料構成比: 23.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

691.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.31%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.90%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.60%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30~0mm	22.04%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

路盤

SPK19040235

単第0 -0148 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 6.39% 労務構成比:

69.63%

材料構成比: 23.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

691.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) 全ての費用			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0210

フィルター層  
平均厚さ40mm以上60mm未満

SPK19040250

単第0 -0149 表

機械構成比: 4.51% 労務構成比:

再生砂

84.46%

材料構成比: 11.03%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
782.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排1 運転質量3~4t	4.10%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式・排1 運転質量3~4t		MTPC00071 MTPT00071
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	20.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	10.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砂	10.19%		再生砂		TTPC00011 TTPT00011
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.77%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0150 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	897.750	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	48.300	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合 G=2 排水性舗装に施工する場合 I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 全ての費用		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0151 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	2,677.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	88.200	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=4 実線_45cm E=1 アスファルトに設置の場合 G=2 排水性舗装に施工する場合 I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 全ての費用		





# 施工単価表

暗渠排水管

SPK19040089

単第0 -0152 表

据付・撤去 直管 200～400mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 19.74%

材料構成比: 80.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,863.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径300(318×9.2)	80.26%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0407 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm G=3 期間3～6ヶ月未満(損料率0.3) I=1 全ての費用			B=1 直管 D=58 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * ( 材料損料率 + ( 材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算 ) )					

# 施工単価表

歩車道境界ブロック

SPK19040289

単第0 -0153 表

歩道接続部(180/204×120×600)

再利用設置 RC-40

1

m 当り

機械構成比: 0.59% 労務構成比:

97.17%

材料構成比:

2.24%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,792.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.59%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	44.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	24.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	24.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.12%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	1.90%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.34%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999



# 施工単価表

歩車道境界ブロック撤去  
再利用

SPK19040291

単第0 -0154 表

機械構成比: 4.91% 労務構成比: 93.48% 材料構成比: 1.61% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,185.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.91%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	29.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ブロック工	18.19%		ブロック工		RTPC00005 RTPT00005
土木一般世話役	17.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	16.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.61%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					



刃口推進工

集計表

費目(レベル1) 管路  
 工種(レベル2) 管きょ工 φ1000mm 刃口推進工法

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	摘要	単位	数量
		区間延長	m	3.50
		推進延長	m	2.00
		管体延長	m	2.40
刃口推進工				
	推進用鉄筋コンクリート管(葉口)		m	2.00
		推進用管 ※1	本	2
		管内掘削工 ※2	m	2.00
		坑内作業工 ※2	m	2.00
		滑材	L/日	259
		電力量	kWh/日	38.8
		坑外作業工 ※2	m	2.00
		電力量	kWh/日	4.2
	発生土処理		m <sup>3</sup>	2.3
	裏込め	※3	m	2.00
		注入材量	L/日	4680
		電力量	kWh/日	28.9
	管目地		箇所	1
	※1	JSWAS A-8 φ1000mm L=1.20m/本 1種70N GJC継手 AW2		
		JSWAS A-8: 下水道推進工法用ガラス繊維鉄筋コンクリート管		
	※2	日進量=2.7m/日(8時間)		
	※3	裏込め日進量=30.0m/日		
立坑内管布設工				
	コンクリート基礎	コンクリート工 σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	—
		型枠工	m <sup>2</sup>	—
		構造物取壊し 鉄筋構造物	m <sup>3</sup>	0.5
		補修モルタル	m <sup>3</sup>	0.1









刃口推進工数量算定表 (3/3)

種 別					
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
発生土処理		$V = \frac{\pi}{4} \times 1.200 \text{ m}^2 \times 2.00 \text{ m} = 2.262 \text{ m}^3$		m <sup>3</sup>	2.3
裏込め		L=		m	2.00
	注入材量	$V = 156.0 \text{ L/m} \times 30.0 \text{ m/日} = 4,680 \text{ L/日}$			
	電力量	$W = \text{(白本P.183~184)} = 28.9 \text{ kWh/日}$			
管目地		$n = 2 \text{ 本} - 1 \text{ 箇所} = 1 \text{ 箇所}$		箇所	1
略称	白本	「下水道用設計標準歩掛表 -第1巻 管路-」(平成27年度、公益社団法人 日本下水道協会)			
	積算要領	「下水道用設計積算要領 -管路施設(推進工法)編-」(2012年版、公益社団法人 日本下水道協会)			

立坑内管布設工数量算定表 (1/1)

中大口径管推進工法 刃口 φ1000					
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
鉄筋コンクリート管					
鉄筋コンクリート管材料費		推進工で計上		本	
鉄筋コンクリート管布設工	φ1000mm	推進工で計上		m	
コンクリート基礎					
コンクリート工	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	V=	1.50 m × 1.262 m × m	=	m <sup>3</sup>
		-V=	π/8 × 1.20 m <sup>2</sup> × m	=	m <sup>3</sup>
				ΣV=	m <sup>3</sup>
					m <sup>3</sup>
型枠工		A=	1.262 m × 0.210 m ×	=	m <sup>2</sup>
					m <sup>2</sup>
構造物取壊し	鉄筋構造物	V=	π/4 × 1.30 m <sup>2</sup> × 0.350 m	=	0.465 m <sup>3</sup>
			管外径に片側5cmの余裕を考慮		
補修モルタル		V=	π/4 × 1.30 m <sup>2</sup> × 0.350 m	=	0.465 m <sup>3</sup>
		-V=	π/4 × 1.20 m <sup>2</sup> × 0.350 m	=	-0.396 m <sup>3</sup>
				ΣV=	0.069 m <sup>3</sup>
					m <sup>3</sup>
					0.1

仮設備工（刃口）数量算定表 (1/2)

中大口径管推進工法 刃口 φ1000					
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
支圧壁				箇所	1
	コンクリート工	V=	0.371 m <sup>2</sup> × 1.950 m = 0.723 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.7
			↑ CAD測定		
	型枠工	A=	1.815 m × 1.950 m = 3.539 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	3.5
	コンクリートとりこわし工	V=	コンクリート工と同じ = 0.723 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.7
クレーン設備組立撤去				箇所	1
坑口工	発進坑口工		ケーシング	箇所	1
	到達坑口工			箇所	
鏡切り工				箇所	1
	発進口切断延長	L'=	9.0 m ケーシング		
	到達口切断延長	L'=	m 構造物取壊しを立坑内管布設工で計上		
推進設備工				箇所	1
刃口撤去工				箇所	1















泥濃式推進工数量算定表 (2/3)

中大口径管推進工法 泥濃式 φ1000					
種別	細目	算定式		単位	数量
切羽作業工	普通土	L=	(平均)日進量: 6.6 m/日	m	131.22
		d=	131.220 m ÷ 6.6 m/日 = 19.88 日 ※ 5.9 ÷ 0.9		
		d=	m ÷ m/日 = 日		
		d=	m ÷ m/日 = 日		
		d=	m ÷ m/日 = 日		
		d=	m ÷ m/日 = 日		
		ΣL=	131.220 m 6.6 m/日 (スパン平均) Σd= 19.88 日		
坑内作業工		L=		m	131.22
	滑材	V=	108.8 L/m × 6.6 m/日 = 718.1 L/日		
	高濃度泥水	V'1=	$\pi/4 \times (1.200\text{ m} + 0.035\text{ m} \times 2)^2 = 1.267\text{ m}^3/\text{m}$		
			高濃度泥水注入率 = $\{0.3 + 0.3 \times 0\% + 0.7 \times 0\%^2\} \times 100 = 30\% \rightarrow 50\% \dots$ 白本P.228		
		V'2=	1.267 m <sup>3</sup> /m × 50 % = 0.634 m <sup>3</sup> /m		
		V=	0.634 m <sup>3</sup> /m × 6.6 m/日 = 4.184 m <sup>3</sup> /日		
	粘土	W=	240.0 kg/m <sup>3</sup>		
	増粘材	W=	1.8 kg/m <sup>3</sup>		
	目詰材	W=	10.0 kg/m <sup>3</sup>		
	水	W=	891.6 kg/m <sup>3</sup> … 白本P.228		
坑外作業工		L=		m	131.22

泥濃式推進工数量算定表 (3/3)

種 別						
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量	
発生土処理		$V = \pi/4 \times 1.200 \text{ m}^2 \times 131.22 \text{ m} = 148.406 \text{ m}^3$				
	掘削量	$V = \pi/4 \times 1.270 \text{ m}^2 \times 131.22 \text{ m} = 166.225 \text{ m}^3$				
	高濃度泥水使用量	$V = 0.634 \text{ m}^3/\text{m} \times 131.22 \text{ m} = 83.193 \text{ m}^3$				
	OC部の50%相当量	$-V = (166.225 \text{ m}^3 - 148.406 \text{ m}^3) \times 50\% = -8.909 \text{ m}^3$				
	ホルダー管	$V = \dots = 3.95 \text{ m}^3$				
		$\Sigma V = 244.459 \text{ m}^3$		m <sup>3</sup>	244.5	
		積算要領P.265、コマンド工法協会資料より				
裏込め		L=		m	131.22	
	注入材量	$V = 43.5 \text{ L/m} \times 69.0 \text{ m/日} = 3,002 \text{ L/日}$				
管目地		n= 56本 - 1箇所 = 55箇所		箇所	55	
略称	白本	「下水道用設計標準歩掛表 -第1巻 管路-」(平成27年度、公益社団法人 日本下水道協会)				
	積算要領	「下水道用設計積算要領 -管路施設(推進工法)編-」(2012年版、公益社団法人 日本下水道協会)				
	泥濃編	「推進工法用設計積算要領 泥濃式推進工法編」(2013年改訂版、公益社団法人 日本推進技術協会)				





仮設備工（泥濃式推進）数量算定表 (1/2)

中大口径管推進工法 泥濃式 φ1000					
種 別	細 目	算 定 式		単 位	数 量
支圧壁				箇所	
クレーン設備組立撤去				箇所	1
坑口工	発進坑口工	ホルダー管用		箇所	1
	到達坑口工			箇所	1
鏡切り工				箇所	2
	発進口切断延長	L'= 9.0 m	ケーシング		
	到達口切断延長	L'= 9.0 m	ライナープレート t=2.7mm		
推進用機器据付撤去				箇所	1
アクロバットジャッキ架台据付撤去工				箇所	1
掘進機引上用受台				箇所	1
	受台重量	W'= 0.59 t	… コマンド工法協会資料P.145		































## M-1 発進立坑工

## 集計表

費目(レベル1)

管路

工種(レベル2)

立坑工 M-1 発進立坑 鋼製ケーシング式  $\phi$  3000mm H=5.010m

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	摘要	単位	数量
管路土工				
	管路埋戻し	コンクリート	m <sup>3</sup>	6.6
		購入土	m <sup>3</sup>	13
	発生土処理	発生土処分工	m <sup>3</sup>	46
鋼製ケーシング式土留工及び土工				
	鋼製ケーシング圧入掘削	圧入掘削積込み工	m	6.46
		平均a=1.9hr/m		
		ケーシング溶接工	箇所	2
		溶接長=9.4m/箇所		
		ケーシング引上げ工	m	1.20
		ケーシング撤去工	箇所	1
		ケーシング切断工	m	14.99
	底盤コンクリート	底盤コンクリート打設工	m <sup>3</sup>	10.6
		30-18-20(25)		
	圧入掘削設備	機械設置撤去工	回	1
		機械退避・再設置工	回	2
	鋼製ケーシング存置	刃先	個	1
		鋼製ケーシング	m	5.40
		スクラップ	t	2.98
	仮設ケーシング損料		式	1
	立坑排水	うわ水排水工	箇所	1
	排水運搬処理	スライム処理工	箇所	1
		泥水処分工	m <sup>3</sup>	2.8
		泥水処分費	m <sup>3</sup>	2.8
	円形覆工板	円形覆工板設置工	箇所	1
		円形覆工板撤去工	箇所	1
		円形覆工板開閉工	箇所	別途
		円形覆工板賃料等	式	1

M-1 発進立坑工数量算定表 (1/5)

φ 3000mmケーシング		立坑深 H= 5.010 m			
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
	立坑深	H= 構造図より		m	5.010
	掘削長	H= 構造図より		m	6.460
	上部隙間	H= 構造図より		m	0.110
ケーシング φ 3000mm	先端ケーシング	L=		m	2.30
	中間ケーシング	L=		m	2.30
	最終ケーシング	L=		m	0.80
	仮設ケーシング	L=		m	2.50
	刃先	加工・接続費を含む		個	1
	超硬チップ			個	
	ケーシング存置	h= L1 + L2 + L3		m	5.40
	搬入ケーシング	H = 5.40 m + 2.50 m		m	7.90
	搬出ケーシング	H'=		m	2.50
	m当り重量	W'= 1.639 t/m (市指針P.1-123)			
	m <sup>2</sup> 当り重量	W'= 0.1727 t/m <sup>2</sup> (市指針P.1-123)			
	搬入重量	W= 7.90 m × 1.639 t/m		t	12.948
	搬出重量	W= 2.50 m × 1.639 t/m		t	4.098

M-1 発進立坑工数量算定表 (2/5)

φ 3000mmケーシング		立坑深 H= 5.010 m				
種 別	細 目	算 定 式			単位	数 量
土工		現況舗装厚=	0.05 m	復旧舗装+路盤厚=	0.25 m	
先行掘削(布掘り)	BH平積0.6	V=	m × m × ( m - m )	=	m <sup>3</sup>	
		V=	π/4 × 3.00 m <sup>2</sup> × ( m - m )	=	m <sup>3</sup>	
				ΣV=	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> -
圧入掘削		V=	π/4 × 3.00 m <sup>2</sup> × 6.460 m	=	45.663 m <sup>3</sup>	
総掘削土量		ΣV=	m <sup>3</sup> + 45.663 m <sup>3</sup>	=	45.663 m <sup>3</sup>	
埋戻し	全体	V=	π/4 × 3.00 m <sup>2</sup> × 2.692 m	=	19.029 m <sup>3</sup>	
コンクリート	ホルダー管	V=	π/4 × 1.772 m <sup>2</sup> × 1.600 m	=	3.946 m <sup>3</sup>	
	控除: 躯体	-V=	π/4 × 2.580 m <sup>2</sup> × 2.692 m	=	-14.074 m <sup>3</sup>	
	控除: 管	-V=	π/4 × 1.200 m <sup>2</sup> × 0.210 m	=	-0.238 m <sup>3</sup>	
	控除: 管	-V=	π/4 × 1.200 m <sup>2</sup> × 1.810 m	=	-2.047 m <sup>3</sup>	
	控除:	-V=	π/4 × m <sup>2</sup> × m ×	=	m <sup>3</sup>	
			※ 頂版上面までコンクリートで埋め戻す	ΣV=	6.616 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> 6.6
埋戻し	全体	V=	π/4 × 3.00 m <sup>2</sup> × ( 2.318 m - 0.250 m )	=	14.618 m <sup>3</sup>	
購入土	控除: 躯体	-V=	π/4 × 1.05 m <sup>2</sup> × 1.500 m	=	-1.299 m <sup>3</sup>	
	控除: 躯体	-V=	π/8 × ( 1.05 m <sup>2</sup> + 0.82 m <sup>2</sup> ) × 0.450 m	=	-0.314 m <sup>3</sup>	
	控除: 躯体	-V=	π/4 × 0.82 m <sup>2</sup> × ( 0.368 m - 0.250 m )	=	-0.062 m <sup>3</sup>	
				ΣV=	12.943 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> 12.9



M-1 発進立坑工数量算定表 (3/5)

φ 3000mmケーシング		立坑深 H= 5.010 m						単位	数量
種 別	細 目	算 定 式							
発生土処理	発生土処分工	V= 45.663 m <sup>3</sup> - m <sup>3</sup> ÷ 0.90 = 45.663 m <sup>3</sup>						m <sup>3</sup>	45.7
圧入掘削積込み工	φ 3000mm	1m当り標準施工時間:a						m	6.460
					単位時間①	層厚②	①×②		
		(2011立坑編P.153)	粘性土	N ≤ 5	1.9 時間/m	2.150 m	4.085		
		( " )	粘性土	5 < N ≤ 30	2.4 時間/m	m			
		( " )	砂質土	N ≤ 30	1.9 時間/m	4.310 m	8.189		
		( " )	砂質土	30 < N ≤ 50	2.4 時間/m	m			
		( " )	礫質土	N ≤ 30	2.0 時間/m	m			
		( " )	礫質土	30 < N ≤ 50	2.4 時間/m	m			
					時間/m	m			
					合計	6.460 m	12.274		
	平均a	= 12.274 ÷ 6.460 = 1.900						hr/m	1.9
ケーシング溶接工	φ 3000mm	溶接長= 9.4 m/箇所 (2011立坑編P.155)						箇所	2
ケーシング引上げ工	φ 3000mm							m	1.20
ケーシング撤去工	φ 3000mm							箇所	1
ケーシング切断工		L'= 1.500 m - 0.110 m = 1.390 m							
		L= π × 3.00 m + 1.390 m × 4 = 14.985 m						m	14.99

M-1 発進立坑工数量算定表 (4/5)

φ 3000mmケーシング		立坑深 H= 5.010 m			
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
底部碎石	RC-40,t=20cm	A=		m <sup>2</sup>	
底盤コンクリート	30-18-20(25)	V= (2011立坑編P.147)		m <sup>3</sup>	10.6
機械設置撤去工	φ 3000mm			回	1
機械退避・再設置工	φ 3000mm	T1=		= 1.40 hr	
		T2= 6.460 m × 1.9 hr/m		= 12.27 hr	
		T3= 18.8 m × 0.1 hr/m		= 1.88 hr	
		T4= 10.6 m <sup>3</sup> × 0.2 hr/m <sup>3</sup>		= 2.12 hr	
		T5= 1.20 m × 0.5 hr/m		= 0.60 hr	
				ΣT= 18.27 hr	
		n= 18.27 hr ÷ 8 hr = 2 回		回	2
スライム処理工	φ 3000mm			箇所	1
泥水処分工		V= (2011立坑編P.166)		m <sup>3</sup>	2.8
円形覆工板設置工	φ 3000mm			箇所	1
円形覆工板撤去工	φ 3000mm			箇所	1
円形覆工板開閉工	φ 3000mm	n=		回	別途

M-1 発進立坑工数量算定表 (5/5)

φ 3000mmケーシング		立坑深 H= 5.010 m			
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
鋼材搬入重量	ケーシング	W=		t	12.948
	覆工板	W=		t	
	ずれ止め	W=		t	
	受桁	W=		t	
	桁受け	W=		t	
鋼材搬出重量	ケーシング	W=		t	4.098
	覆工板	W=		t	
	ずれ止め	W=		t	
	受桁	W=		t	
	桁受け	W=		t	
スクラップ	ケーシング	W' = 1.639 t/m			
		W' = 0.1727 t/m <sup>2</sup>			
	上部	W = ( 1.500 m - 0.110 m ) × 1.639 t/m = 2.278 t			
	鏡切り:HP φ 1000用	W = π/4 × 1.300 m <sup>2</sup> × 1 箇所 × 0.1727 t/m <sup>2</sup> = 0.229 t			
	鏡切り:ホルダー管用	W = π/4 × 1.872 m <sup>2</sup> × 1 箇所 × 0.1727 t/m <sup>2</sup> = 0.475 t			
		※ 管外径に片側5cmの余裕を考慮		Σ W = 2.982 t	t 2.982

## M-2 到達立坑工

## 集計表

費目(レベル1)

管路

工種(レベル2)

立坑工 M-2 到達立坑工 ライナープレート□5090×3049mm H=4.027m

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	摘要	単位	数量
管路土工				
	管路掘削	立坑掘削工 バックホウ掘削	m <sup>3</sup>	27
	発生土処理	発生土処分工	m <sup>3</sup>	86
ライナープレート式土留工及び土工				
	ガイドコンクリート	コンクリート工 人力打設	m <sup>3</sup>	1.4
		型枠工	m <sup>2</sup>	9.3
		構造物取壊し 無筋構造物	m <sup>3</sup>	1.4
	ライナープレート掘削土留		m	4.68
		ライナープレート掘削土留工		
		短径 3049mm BH		
		砂質土及び粘性土	m	4.30
		短径 3049mm CS 深8m迄		
		砂質土及び粘性土	m	0.38
		グラウト工	m <sup>3</sup>	5.2
	ライナープレート埋戻	機械投入埋戻工	m <sup>3</sup>	46
		ライナープレート撤去工	m	0.62
	ライナープレート支保	支保材設置撤去工	t	—
	ライナープレート存置	ライナープレート	m	3.50
		補強リング	リング	6
	ライナープレート・支保材賃料等	賃料重量	t	—
		スクラップ	t	0.445
	立坑基礎工	基礎コンクリート	m <sup>3</sup>	2.3
		基礎碎石工 t=200mm	m <sup>2</sup>	16
管路路面覆工				
	覆工板・覆工板受桁設置撤去工	推進立坑50m2以下	m <sup>2</sup>	35
	コンクリート工	人力打設	m <sup>3</sup>	0.3
	型枠工		m <sup>2</sup>	1.2
	構造物取壊し	無筋構造物	m <sup>3</sup>	0.3





M-2 到達立坑工数量算定表 (3/8)

□5090×3049mmライナープレート		立坑深 H= 4.027 m				
種 別	細 目	算 定 式			単 位	数 量
ライナープレート埋戻						
機械投入埋戻工		V= 5.090 m × 3.049 m ×( 3.477 m - 0.35 m ) = 48.529 m <sup>3</sup>				
		V= 12.90 m <sup>2</sup> ×( 0.900 m - 0.60 m ) = 3.870 m <sup>3</sup>				
		V= 22.10 m <sup>2</sup> ×( 0.900 m - 0.24 m ) = 14.586 m <sup>3</sup>				
	控除:M-2躯体	-V= 1.80 m × 1.80 m × 2.420 m = -7.841 m <sup>3</sup>				
	控除:M-2立上り	-V= π/4 × 1.05 m <sup>2</sup> ×( 1.607 m - 0.60 m ) = -0.872 m <sup>3</sup>				
	控除:M-2流出	-V= π/8 × 1.200 m <sup>2</sup> × 0.625 m = -0.353 m <sup>3</sup>				
	控除:M-2流出	-V= 1.50 m × 1.000 m × 0.625 m = -0.938 m <sup>3</sup>				
	控除:M-3躯体	-V= 1.80 m × 1.80 m × 2.280 m = -7.387 m <sup>3</sup>				
	控除:M-3立上り	-V= π/4 × 1.05 m <sup>2</sup> ×( 1.797 m - 0.24 m ) = -1.348 m <sup>3</sup>				
	控除:M-3流出	-V= π/8 × 1.050 m <sup>2</sup> × 0.700 m = -0.303 m <sup>3</sup>				
	控除:M-3流出	-V= 1.35 m × 0.955 m × 0.700 m = -0.902 m <sup>3</sup>				
	控除:M-3流入	-V= π/8 × 1.050 m <sup>2</sup> × 0.630 m = -0.273 m <sup>3</sup>				
	控除:M-3流入	-V= 1.35 m × 0.986 m × 0.630 m = -0.839 m <sup>3</sup>				
		ΣV= 45.929 m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>	45.9
ライナープレート撤去工	短径 3049mm	L= 1.500 m - 0.877 m = 0.623 m			m	0.62







M-2 到達立坑工数量算定表 (6/8)

□5090×3049mmライナープレート		立坑深 H= 4.027 m				
種 別	細 目	算 定 式			単位	数 量
立坑基礎工						
基礎コンクリート	人力打設	V=	5.090 m × 3.049 m × 0.15 m	=	2.328 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> 2.3
基礎砕石工	t=200mm	A=	5.090 m × 3.049 m	=	15.519 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 15.5
管路路面覆工						
覆工板・覆工板受桁設置撤去工	推進立坑50m2以下	A=	7.00 m × 5.00 m	=	35.000 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 35.0
コンクリート工	人力打設	V=	7.00 m × 0.25 m × 0.10 m × 1	=	0.175 m <sup>3</sup>	
		V=	3.95 m × 0.25 m × 0.10 m × 1	=	0.099 m <sup>3</sup>	
		V=	0.35 m × 0.25 m × 0.10 m × 1	=	0.009 m <sup>3</sup>	
				ΣV=	0.283 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> 0.3
型枠工		A=	7.00 m × 0.10 m × 1	=	0.700 m <sup>2</sup>	
		A=	3.95 m × 0.10 m × 1	=	0.395 m <sup>2</sup>	
		A=	0.35 m × 0.10 m × 1	=	0.035 m <sup>2</sup>	
		A=	0.25 m × 0.10 m × 2	=	0.050 m <sup>2</sup>	
				ΣA=	1.180 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 1.2
構造物取壊し	無筋構造物	V=	コンクリート工と同じ	=	0.283 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> 0.3



M-2 到達立坑工数量算定表 (8/8)

□5090×3049mmライナープレート 立坑深 H= 4.027 m					
種 別	細 目	算 定 式		単 位	数 量
鋼材搬入重量	ライナープレート	W'= 0.578 t/m			
		W= 3.50 m × 0.578 t/m	= 2.023 t	t	2.023
	補強リング	H-150×150×7×10 W'= 0.0311 t/m			
		W= 5.090 m × 12 本 × 0.0311 t/m	= 1.900 t		
		W= 3.049 m × 12 本 × 0.0311 t/m	= 1.138 t		
		ΣW= 3.038 t		t	3.038
	覆工板	W'= 0.200 t/m <sup>2</sup>			
		W= 7.00 m × 5.00 m × 0.200 t/m <sup>2</sup>	= 7.000 t	t	7.000
	受桁	H-350×350×12×19 W'= 0.150 t/m			
		W= 5.00 m × 3 列 × 0.150 t/m	= 2.250 t	t	2.250
	桁受け	H-250×250×9×14 W'= 0.080 t/m			
		W= 11.30 m × 1 列 × 0.080 t/m	= 0.904 t	t	0.904
鋼材搬出重量	覆工板	W= 搬入重量に同じ		= 7.000 t	t 7.000
	受桁	W= 搬入重量に同じ		= 2.250 t	t 2.250
	桁受け	W= 搬入重量に同じ		= 0.904 t	t 0.904

薬液注入(二重管ストレーナ工法 単相方式) 集計表

費 目(レベル1) 管路  
工 種(レベル2) 立坑工

種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	摘 要	単 位	数 量
補助地盤改良工				
	薬液注入			
	[M-1 発進立坑 下流側坑口]	薬液注入工 二重管ストレーナ・単相方式	本	7
		N= 6.2 L1=		
		b= 2 L2= 3.35		
		Qs= 1,410 L3= 2.10		
	[M-1 発進立坑 上流側坑口]	薬液注入工 二重管ストレーナ・単相方式	本	12
		N= 5.6 L1=		
		b= 2 L2= 3.61		
		Qs= 1,663 L3= 2.10		
	[M-2 到達立坑 側壁部①]	薬液注入工 二重管ストレーナ・単相方式	本	30
		N= 5.3 L1=		
		b= 2 L2= 3.88		
		Qs= 1,752 L3= 2.10		
	[M-2 到達立坑 側壁部②]	薬液注入工 二重管ストレーナ・単相方式	本	4
		N= 6.7 L1=		
		b= 2 L2= 4.99		
		Qs= 693 L3= 2.81		
	[M-2 到達立坑 底版部]	薬液注入工 二重管ストレーナ・単相方式	本	16
		N= 8.9 L1=		
		b= 2 L2= 3.88		
		Qs= 621 L3= 2.10		
	[M-2 到達立坑 坑口]	薬液注入工 二重管ストレーナ・単相方式	本	2
		N= 6.8 L1=		
		b= 2 L2= 2.63		
		Qs= 1,326 L3= 2.10		
		注入設備据付・解体工(車上)	現場	2
N:1日当り施工本数(本/日) b:施工台数(台) Qs:1本当り注入量(L/本)				
L1:礫質土部分削孔長(m) L2:砂質土部分削孔長(m) L3:粘性土部分削孔長(m)				

## 二重管ストレーナ(単相)工法

\*2 セットを標準とする

A=CAD測定

M-1 発進立坑 下流側坑口

【施工面積 A = 6.81 m<sup>2</sup>】

【1本当り注入量 Q<sub>s</sub>= 1,410 (L/本)】

【施工本数 n = 7 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L <sub>0</sub> (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m <sup>3</sup> )	注入率		総注入量 V*λ V(kL)	1本当り						1日当り	施工日数 n/N D(日)		
		N値	L <sub>1</sub> (m)			溶液型 λ	溶液型 V'*λ		機械準備 時間 T <sub>1</sub> (分)	削孔時間		注入量 Q <sub>s</sub> (L/本)	注入時間 Q <sub>s</sub> /q <sub>s</sub> T <sub>3</sub> (分)	土被り 引抜時間 γ <sub>2</sub> *L <sub>2</sub> T <sub>4</sub> (分)	施工時間 T <sub>1</sub> +T <sub>2</sub> +T <sub>3</sub> +T <sub>4</sub> T <sub>s</sub> (分)		施工本数 60*H*2/T <sub>s</sub> N(本/日)	
										m当り 時間 γ <sub>1</sub> (分/m)	α*γ <sub>1</sub> *L <sub>0</sub> T <sub>2</sub> (分)							q <sub>s</sub> =18(L/分) V*1000/n Q <sub>s</sub> (L/本)
	5.448		3.700	1.0	25.197			9.864	14	25.1	1,410	78.3	3.5	121	6.2	1.1		
粘性土	2.100	0~4	2.100	30°未満 1.0	14.301	38.5	5.506	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間 * 打設間		4.0	8.4	787	43.7	γ <sub>2</sub> =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする			
		4~8	0.000		0.000	30.0	0.000					0.000	0				0.0	
		8~15	0.000		0.000	15.0	0.000					0	0.0					
砂質土	3.348	0~10	1.600	100°未満 1.35	10.896	40.0	4.358		5.0	16.7	623	34.6						
		10~30	0.000		0.000	32.0	0.000				0	0.0						
礫質土	0.000	30以上	0.000	100°以上 1.5	0.000	21.0	0.000		8.0	0.0	0	0.0						
		10~30	0.000		0.000	40.0	0.000				0	0.0						
		30~50	0.000		0.000	28.0	0.000				0	0.0						
		50以上	0.000		0.000	20.0	0.000				0	0.0						

# 二重管ストレーナ(単相)工法

\* 2 セットを標準とする

A=CAD測定

M-1 発進立坑 上流側坑口

【施工面積 A = 11.82 m<sup>2</sup>】

【1本当り注入量 Q<sub>s</sub> = 1,663 (L/本)】

【施工本数 n = 12 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L <sub>0</sub> (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m <sup>3</sup> )	注入率		総注入量 V*λ (kL)	1本当り						1日当り				
		N値	L <sub>1</sub> (m)			溶液型 λ (%)	溶液型 V'*λ (kL)		機械準備 時間 T <sub>1</sub> (分)	削孔時間		注入量 Q <sub>s</sub> (L/本)	注入時間 Q <sub>s</sub> /q <sub>s</sub> T <sub>3</sub> (分)	土被り 引抜時間 γ <sub>2</sub> *L <sub>2</sub> T <sub>4</sub> (分)	施工時間 T <sub>1</sub> +T <sub>2</sub> +T <sub>3</sub> +T <sub>4</sub> T <sub>s</sub> (分)	施工本数 60*H*2/T <sub>s</sub> N(本/日)	施工日数 n/N D(日)		
										α*γ <sub>1</sub> *L <sub>0</sub>	V*1000/n							γ <sub>1</sub> (分/m)	T <sub>2</sub> (分)
										qs=18(L/分)	qs/q <sub>s</sub>							γ <sub>2</sub> (分/m)	T <sub>s</sub> (分)
	5.714		4.300	1.0	50.826			19.958	14		26.5	1,663	92.4	2.8	136	5.6	2.1		
粘性土	2.100	0~4	2.100	30°未満 1.0	24.822	38.5	9.556	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間	14	4.0	8.4	796	44.2	γ <sub>2</sub> =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする				
		4~8	0.000		0.000	30.0	0.000					0	0.0						
		8~15	0.000		0.000	15.0	0.000					0	0.0						
砂質土	3.614	0~10	2.200	100°未満 1.35	26.004	40.0	10.402	* 打設間 隔は1m	5.0	18.1	867	48.2							
		10~30	0.000		0.000	32.0	0.000				0	0.0							
礫質土	0.000	30以上	0.000	100°以上 1.5	0.000	21.0	0.000	を標準と する	8.0	0.0	0	0.0							
		10~30	0.000		0.000	40.0	0.000				0	0.0							
		30~50	0.000		0.000	28.0	0.000				0	0.0							
		50以上	0.000		0.000	20.0	0.000				0	0.0							

## 二重管ストレーナ(単相)工法

\* 2 セットを標準とする

$$A = 8.090 \times 6.049 - 5.090 \times 3.049 - 2.640 \times 1.400$$

M-2 到達立坑 側壁部①

【施工面積 A = 29.72 m<sup>2</sup>】

【1本当り注入量 Q<sub>s</sub> = 1,752 (L/本)】

【施工本数 n = 30 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L <sub>0</sub> (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m <sup>3</sup> )	注入率		総注入量 V*λ V(kL)	1本当り						1日当り					
		N値	L <sub>1</sub> (m)			溶液型 λ (%)	溶液型 V'*λ (kL)		機械準備 時間 T <sub>1</sub> (分)	削孔時間		注入量 V*1000/n Q <sub>s</sub> (L/本)	注入時間 q <sub>s</sub> =18(L/分) Q <sub>s</sub> /q <sub>s</sub> T <sub>3</sub> (分)	土被り 引抜時間 γ <sub>2</sub> *L <sub>2</sub> T <sub>4</sub> (分)	施工時間 T <sub>1</sub> +T <sub>2</sub> +T <sub>3</sub> +T <sub>4</sub> T <sub>s</sub> (分)	施工本数 60*H*2/T <sub>s</sub> N(本/日)	施工日数 n/N D(日)			
										m当り 時間								α*γ <sub>1</sub> *L <sub>0</sub>	γ <sub>1</sub> (分/m)	T <sub>2</sub> (分)
	5.977		4.500	1.0	133.740			52.560	14		27.8	1,752	97.3	3.0	142	5.3	5.7			
粘性土	2.100	0~4	2.100	30°未満 1.0	62.412	38.5	24.029	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間 * 打設間 隔は1m を標準と する		4.0	8.4	801	44.5	γ <sub>2</sub> =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする					
		4~8	0.000		0.000	30.0	0.000					0	0.0							
		8~15	0.000		0.000	15.0	0.000					0	0.0							
砂質土	3.877	0~10	2.400	100°未満	71.328	40.0	28.531		5.0	19.4	951	52.8								
		10~30	0.000	1.35	0.000	32.0	0.000				0	0.0								
礫質土	0.000	10~30	0.000	100°以上 1.5	0.000	40.0	0.000		8.0	0.0	0	0.0								
		30~50	0.000		0.000	28.0	0.000				0	0.0								
		50以上	0.000		0.000	20.0	0.000				0	0.0								



## 二重管ストレーナ(単相)工法

\* 2 セットを標準とする

$$A = (2.640 \times 1.400) \times 1.877 \div 2.108 \text{ 斜打ち}$$

M-2 到達立坑 側壁部②

【施工面積 A = 3.29 m<sup>2</sup>】

【1本当り注入量 Q<sub>s</sub> = 693 (L/本)】

【施工本数 n = 4 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L <sub>0</sub> (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m <sup>3</sup> )	注入率		総注入量 V*λ (kL)	1本当り						1日当り			
		N値	L <sub>1</sub> (m)			溶液型 λ (%)	溶液型 V'*λ (kL)		機械準備 時間 T <sub>1</sub> (分)	削孔時間		注入量 Q <sub>s</sub> (L/本)	注入時間 Q <sub>s</sub> /q <sub>s</sub> T <sub>3</sub> (分)	土被り 引抜時間 γ <sub>2</sub> *L <sub>2</sub> T <sub>4</sub> (分)	施工時間 T <sub>1</sub> +T <sub>2</sub> +T <sub>3</sub> +T <sub>4</sub> T <sub>s</sub> (分)	施工本数 60*H*2/T <sub>s</sub> N(本/日)	施工日数 n/N D(日)	
										m当り 時間 γ <sub>1</sub> (分/m)	T <sub>2</sub> (分)							
										qs=18(L/分)								
	7.794		2.108	1.35	6.936		2.773	14		48.8	693	38.5	11.4	113	6.7	0.6		
粘性土	2.809	0~4	0.026	30°未満 1.0	0.086	38.5	0.033	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間	4.0	15.2	8	0.4	γ <sub>2</sub> =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする				
		4~8	0.000		0.000	30.0	0.000										0	0.0
		8~15	0.000		0.000	15.0	0.000										0	0.0
砂質土	4.985	0~10	2.082	100°未満	6.850	40.0	2.740	* 打設間 隔は1m	5.0	33.6	685	38.1						
		10~30	0.000	1.35	0.000	32.0	0.000										0	0.0
礫質土	0.000	30以上	0.000	100°以上	0.000	21.0	0.000	を標準と する	8.0	0.0	0	0.0						
		10~30	0.000	1.5	0.000	40.0	0.000										0	0.0
		30~50	0.000		0.000	28.0	0.000				0	0.0						
		50以上	0.000		0.000	20.0	0.000				0	0.0						

# 二重管ストレーナ(単相)工法

\* 2 セットを標準とする

$$A=5.090 \times 3.049$$

M-2 到達立坑 底板部

【施工面積 A = 15.52 m<sup>2</sup>】

【1本当り注入量 Q<sub>s</sub>= 621 (L/本)】

【施工本数 n = 16 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L <sub>0</sub> (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m <sup>3</sup> )	注入率		総注入量 V*λ (kL)	1本当り						1日当り		
		N値	L <sub>1</sub> (m)			溶液型 λ	溶液型 V'*λ		機械準備 時間 T <sub>1</sub> (分)	削孔時間		注入量 Q <sub>s</sub> (L/本)	注入時間 Q <sub>s</sub> /q <sub>s</sub> T <sub>3</sub> (分)	土被り 引抜時間 γ <sub>2</sub> *L <sub>2</sub> T <sub>4</sub> (分)	施工時間 T <sub>1</sub> +T <sub>2</sub> +T <sub>3</sub> +T <sub>4</sub> T <sub>s</sub> (分)	施工本数 60*H*2/T <sub>s</sub> N(本/日)	施工日数 n/N D(日)
										m当り 時間 γ <sub>1</sub> (分/m)	α*γ <sub>1</sub> *L <sub>0</sub> T <sub>2</sub> (分)						
	5.977		1.600	1.0	24.832		9.933		14		27.8	621	34.5	8.8	85	8.9	1.8
粘性土	2.100	0~4	0.000	30°未満 1.0	0.000	38.5	0.000	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間	14	4.0	8.4	0	0.0	γ <sub>2</sub> =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする		
		4~8	0.000		0.000	0.000	0					0.0					
		8~15	0.000		0.000	0.000	0					0.0					
砂質土	3.877	0~10	1.600	100°未満 1.35	24.832	40.0	9.933	* 打設間 隔は1m	5.0	19.4	621	34.5	0	0.0			
		10~30	0.000		0.000	0.000	0				0.0						
礫質土	0.000	30以上	0.000	100°以上 1.5	0.000	21.0	0.000	を標準と する	8.0	0.0	0	0.0	0	0.0			
		50以上	0.000		0.000	0.000	0				0.0						

## 二重管ストレーナ(単相)工法

\* 2 セットを標準とする

$$A=3.662 \times 0.50$$

M-2 到達立坑 坑口

【施工面積 A = 1.83 m<sup>2</sup>】

【1本当り注入量 Qs = 1,326 (L/本)】

【施工本数 n = 2 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L <sub>0</sub> (m)	注入長 N値 L <sub>1</sub> (m)		角度補正 α	対象土量 V' (m <sup>3</sup> )	注入率		総注入量 V*λ V(kL)	1本当り					1日当り						
						溶液型 λ (%)	溶液型 V'*λ (kL)		機械準備 時間 T <sub>1</sub> (分)	削孔時間		注入量 V*1000/n Qs(L/本)	注入時間 qs=18(L/分) Qs/qs T <sub>3</sub> (分)	土被り 引抜時間 γ <sub>2</sub> *L <sub>2</sub> T <sub>4</sub> (分)	施工時間 T <sub>1</sub> +T <sub>2</sub> +T <sub>3</sub> +T <sub>4</sub> T <sub>s</sub> (分)	施工本数 60*H*2/T <sub>s</sub> N(本/日)	施工日数 n/N D(日)			
										m当り 時間 γ <sub>1</sub> (分/m)	α*γ <sub>1</sub> *L <sub>0</sub> T <sub>2</sub> (分)							T <sub>1</sub> (分)	γ <sub>1</sub> (分/m)	T <sub>2</sub> (分)
	4.727		3.700	1.0	6.771		2.651	14		21.5	1,326	73.7	2.1	111	6.8	0.3				
粘性土	2.100	0~4 4~8 8~15	2.100 0.000 0.000	30°未満 1.0	3.843 0.000 0.000	38.5 30.0 15.0	1.480 0.000 0.000	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間	4.0	8.4	740 0 0	41.1 0.0 0.0	γ <sub>2</sub> =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする						
砂質土	2.627	0~10 10~30 30以上	1.600 0.000 0.000	100°未満 1.35 100°以上	2.928 0.000 0.000	40.0 32.0 21.0	1.171 0.000 0.000	* 打設間	5.0	13.1	586 0 0	32.6 0.0 0.0								
礫質土	0.000	10~30 30~50 50以上	0.000 0.000 0.000	1.5	0.000 0.000 0.000	40.0 28.0 20.0	0.000 0.000 0.000	隔は1m を標準と する	8.0	0.0	0 0 0	0.0 0.0 0.0								

## 付 帯 工

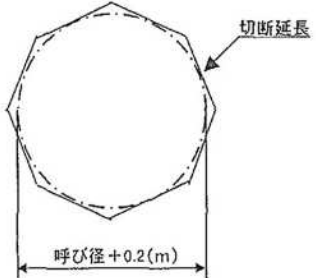
## 集計表

費 目(レベル1) 管路  
工 種(レベル2) 付帯工

種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	摘 要	単 位	数 量
舗装撤去工	(市道車道 As 5-10-10)			
	舗装版切断	As t=5cm	m	25
	舗装版破碎	As t=5cm	m <sup>2</sup>	12
	殻運搬処理	Asガラ	m <sup>3</sup>	0.6
舗装復旧工	(市道車道 As 5-10-10)			
	下層路盤	RC-30 t=10cm	m <sup>2</sup>	7.1
	上層路盤	RM-30 t=10cm	m <sup>2</sup>	7.1
	表層	再生密As t=5cm	m <sup>2</sup>	12
舗装撤去工	(国道車道 As 5-5-5-10-15-20)			
	舗装版切断	As t=25cm	m	24
	舗装版破碎	As t=25cm	m <sup>2</sup>	18
	殻運搬処理		m <sup>3</sup>	4.6
舗装復旧工	(国道車道 As 5-5-5-10-15-20)			
	下層路盤	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	13
	上層路盤	RM-30 t=15cm	m <sup>2</sup>	13
	上層路盤	再生As安定処理 t=10cm	m <sup>2</sup>	18
	基層	再生粗As t=5cm	m <sup>2</sup>	18
	中間層	再生粗AsP改質Ⅱ t=5cm	m <sup>2</sup>	18
	表層	P改質AsⅡ t=5cm	m <sup>2</sup>	18
舗装撤去工	(国道歩道 IRB 6-3-10-5)			
	インターロッキングブロック撤去	再使用 t=6cm	m <sup>2</sup>	22
舗装復旧工	(国道歩道 IRB 6-3-10-5)			
	フィルター層	砂 t=5cm	m <sup>2</sup>	22
	路盤	RC-30 t=10cm	m <sup>2</sup>	22
	透水シート		m <sup>2</sup>	22
	敷砂		m <sup>3</sup>	0.9
	インターロッキングブロック設置	t=6cm	m <sup>2</sup>	22

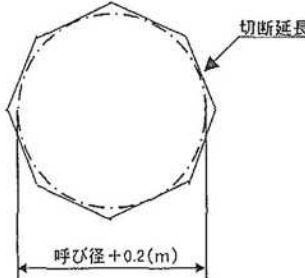


舗装工（市道車道）数量算定表 (1/2)

市道車道		As 5-10-10			単位	数量													
種別	細目	算定式																	
舗装版切断	M-1発進立坑	L=	11.00 m +	m +	m +	m = 11.00 m													
t=5cm	同上 影響範囲	L=	3.40 m +	3.40 m +	3.40 m +	3.40 m = 13.60 m													
		L=	m +	m +	m +	m = m													
		L=	m +	m +	m +	m = m													
(4) 八角形切断					ΣL=	24.60 m	m	24.60											
<p>小型立坑では八角形切断が数多く採用されている。その概要図を図3.2-2に示す。呼び径+0.2(m)の内接円を形成する八角形状にコンクリートカッタを入れる。 その内部は人力およびバックホウにより破碎し撤去する。表3.2-4に切断長の例を示す。</p>																			
				<p>表 3.2-4 切断延長(L) (参考例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径(D)</th> <th>切断延長(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1500</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>1800</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>2000</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>2500</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>3000</td> <td>11.0</td> </tr> </tbody> </table>		呼び径(D)	切断延長(m)	1500	6.0	1800	7.0	2000	7.5	2500	9.5	3000	11.0		
呼び径(D)	切断延長(m)																		
1500	6.0																		
1800	7.0																		
2000	7.5																		
2500	9.5																		
3000	11.0																		
		<p>図 3.2-2 八角形切断要領図</p>		<p><math>L = (D + 0.2) \tan(22.5^\circ) \times 8(m)</math></p>		<p>日推協 2011年 立坑編 P.83</p>													
舗装版破碎	M-1発進立坑	A=	3.40 m ×	3.40 m		= 11.560 m <sup>2</sup>													
t=5cm		A=	m ×	m		= m <sup>2</sup>													
		A=	m ×	m		= m <sup>2</sup>													
		A=	m × tan	° ×	m ×	= m <sup>2</sup>													
					ΣA=	11.560 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	11.56											



舗装工（国道車道）数量算定表 (1/2)

国道車道		As 5-5-5-10-15-20		算定式	単位	数量													
種別	細目																		
舗装版切断	M-2到達立坑	L=	1.81 m +	5.00 m +	4.02 m +	m = 10.83 m													
t=25cm	同上 影響範囲	L=	2.25 m +	5.90 m +	4.85 m +	m = 13.00 m													
		L=	m +	m +	m +	m = m													
		L=	m +	m +	m +	m = m													
(4) 八角形切断					ΣL=	23.83 m													
<p>小型立坑では八角形切断が数多く採用されている。その概要図を図3.2-2に示す。呼び径+0.2(m)の内接円を形成する八角形状にコンクリートカットを入れる。</p> <p>その内部は人力およびバックホウにより破砕し撤去する。表3.2-4に切断長の例を示す。</p>						23.83													
				<p>表 3.2-4 切断延長(L) (参考例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径(D)</th> <th>切断延長(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1500</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>1800</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>2000</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>2500</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>3000</td> <td>11.0</td> </tr> </tbody> </table>		呼び径(D)	切断延長(m)	1500	6.0	1800	7.0	2000	7.5	2500	9.5	3000	11.0		
呼び径(D)	切断延長(m)																		
1500	6.0																		
1800	7.0																		
2000	7.5																		
2500	9.5																		
3000	11.0																		
		<p>図 3.2-2 八角形切断要領図</p>		<p><math>L = (D + 0.2) \tan(22.5^\circ) \times 8(m)</math></p>															
					日推協														
					2011年 立坑編 P.83														
舗装版破砕	M-2到達立坑	A=	(CAD測定)		=	18.260 m <sup>2</sup>													
t=25cm		A=	m ×	m	=	m <sup>2</sup>													
		A=	m ×	m	=	m <sup>2</sup>													
		A=	m × tan	° ×	m ×	m <sup>2</sup>													
					ΣA=	18.260 m <sup>2</sup>													
						m <sup>2</sup>													
						18.26													





舗装工（国道歩道）数量算定表 (1/2)

国道歩道		IRB 6-3-10-5		単位	数量
種別	細目	算定式			
インターロッキングブロック撤去	再使用	A=	(CAD測定)	= 22.100 m <sup>2</sup>	
t=6cm		A=	m × m	= m <sup>2</sup>	
		A=	m × m	= m <sup>2</sup>	
		A=	m × tan ° × m ×	= m <sup>2</sup>	
				Σ A= 22.100 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 22.10
フィルター層	砂	A=	(CAD測定)	= 22.100 m <sup>2</sup>	
		A=	m × m	= m <sup>2</sup>	
		A=	m × m	= m <sup>2</sup>	
		A=	m × tan ° × m ×	= m <sup>2</sup>	
				Σ A= 22.100 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 22.10
路盤		A=	(CAD測定)	= 22.100 m <sup>2</sup>	
		A=		= m <sup>2</sup>	
		A=		= m <sup>2</sup>	
		A=		= m <sup>2</sup>	
				Σ A= 22.100 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup> 22.10

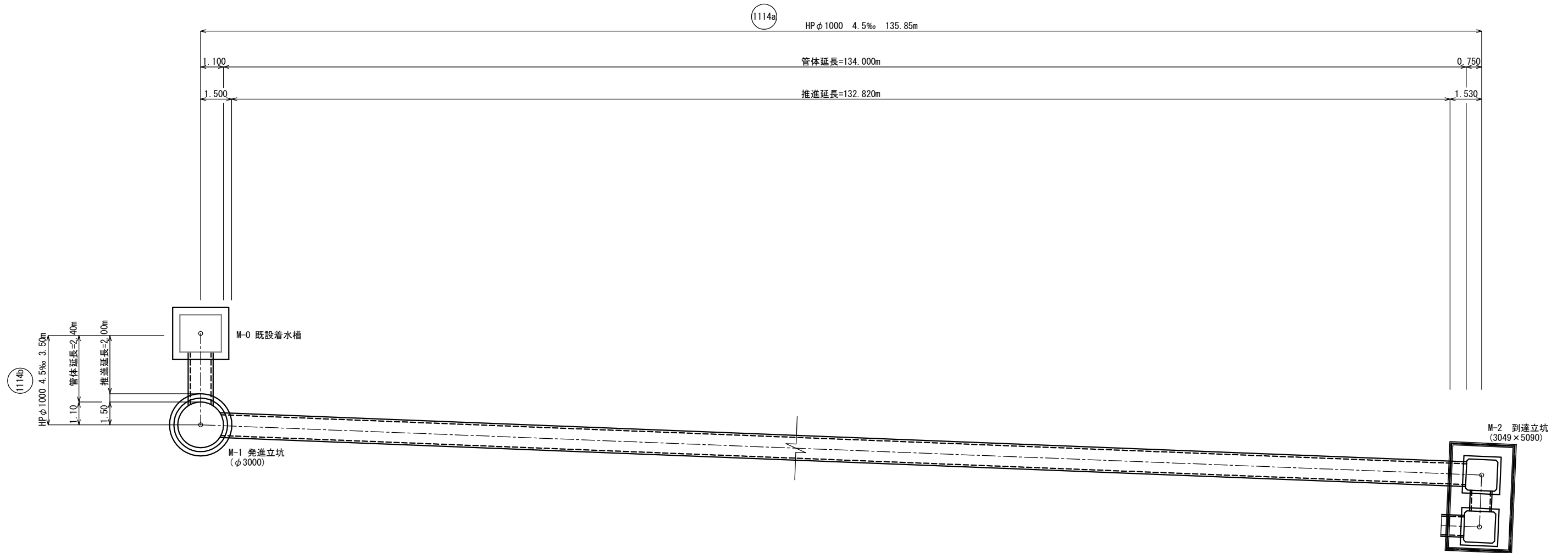
舗装工（国道歩道）数量算定表 (2/2)

国道歩道		IRB 6-3-10-5			
種別	細目	算定式		単位	数量
透水シート		A= (CAD測定)	= 22.100 m <sup>2</sup>		
		A=	= m <sup>2</sup>		
		A=	= m <sup>2</sup>		
		A=	= m <sup>2</sup>		
			Σ A= 22.100 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	22.10
敷砂		V= 22.100 m <sup>2</sup> × 0.03 m × 1.29	= 0.855 m <sup>3</sup>		
		V=	= m <sup>3</sup>		
		V=	= m <sup>3</sup>		
		V=	= m <sup>3</sup>		
			Σ V= 0.855 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.86
インターロッキングブロック設置		A= (CAD測定)	= 22.100 m <sup>2</sup>		
		A=	= m <sup>2</sup>		
		A=	= m <sup>2</sup>		
		A=	= m <sup>2</sup>		
			Σ A= 22.100 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	22.10



# 推進工概要図

(S=1/100)

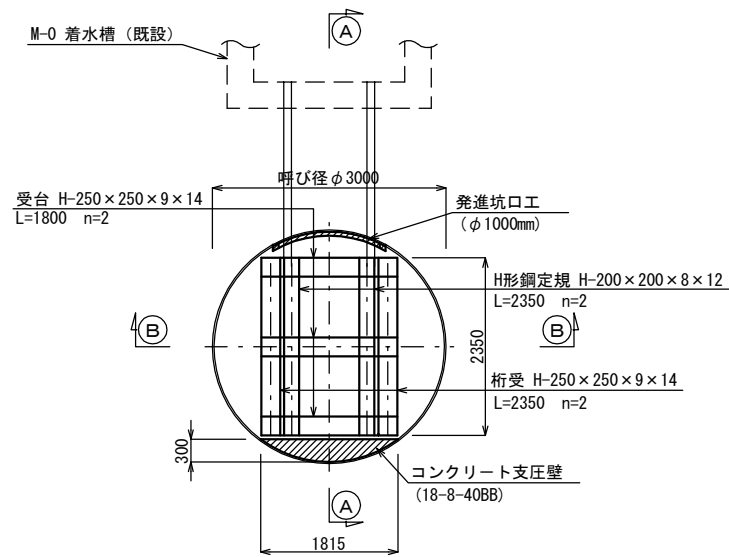


令和2年度 公共下水道事業（雨水）		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事（2-1工区）	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/100
推進工概要図		
三原市		

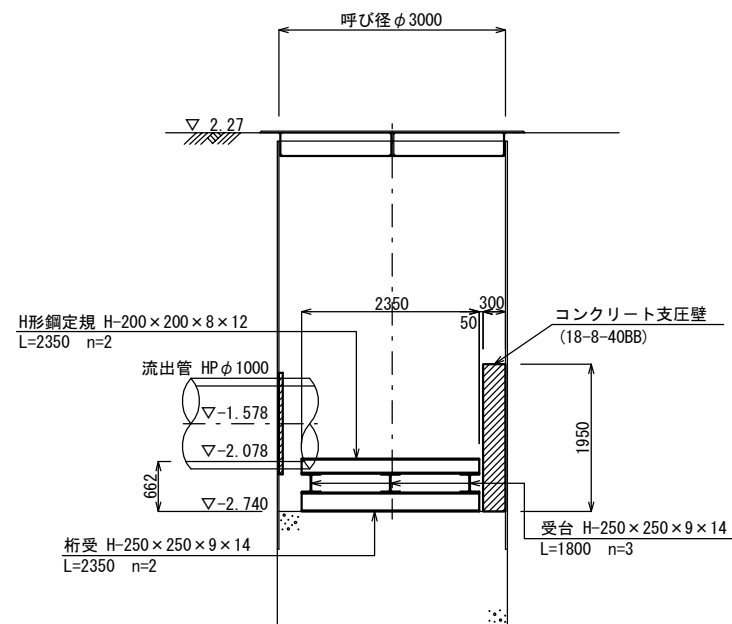
刃口推進工仮設備図

(S=1/50)

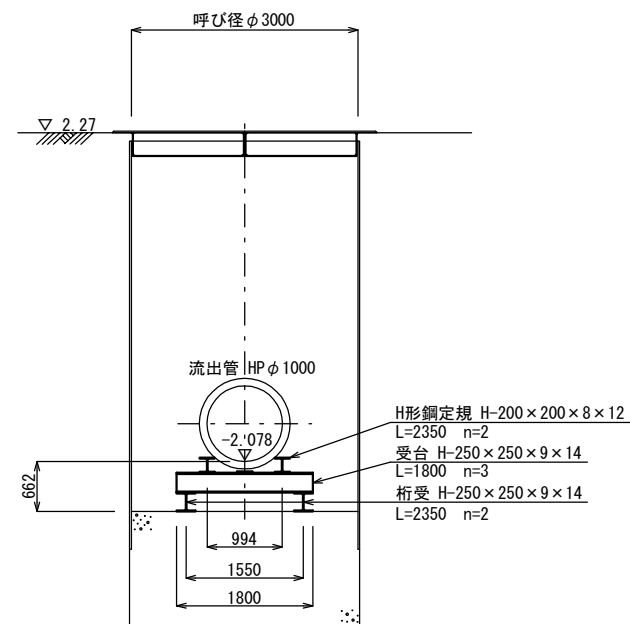
平面図



Ⓐ—Ⓐ



Ⓑ—Ⓑ

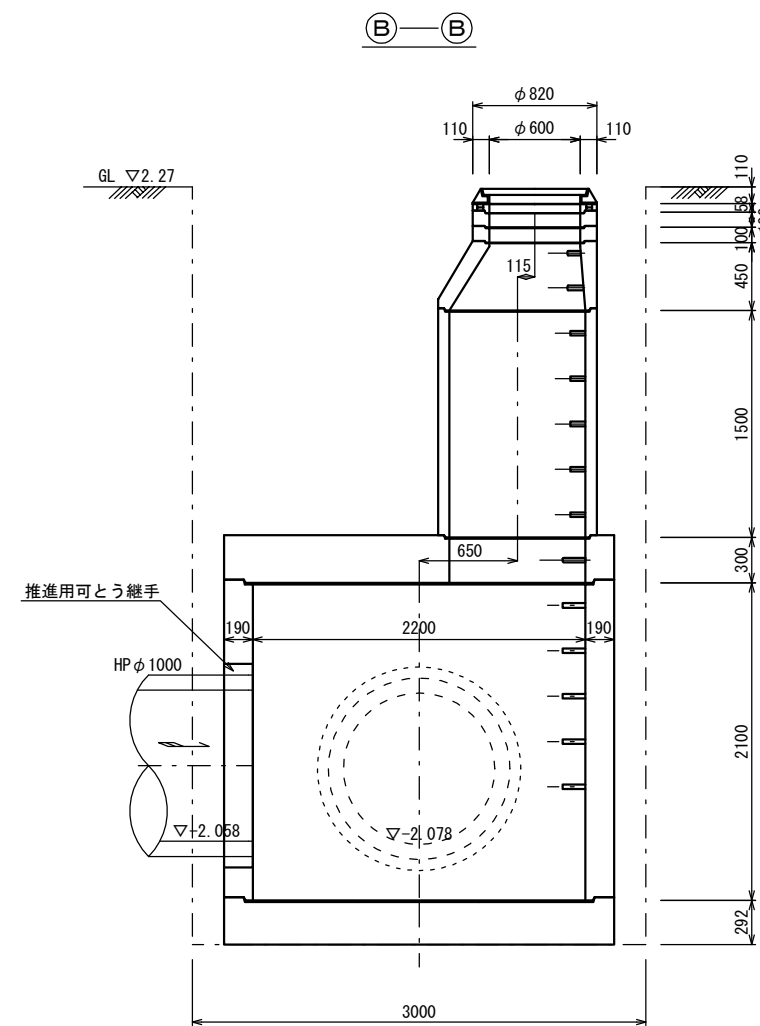
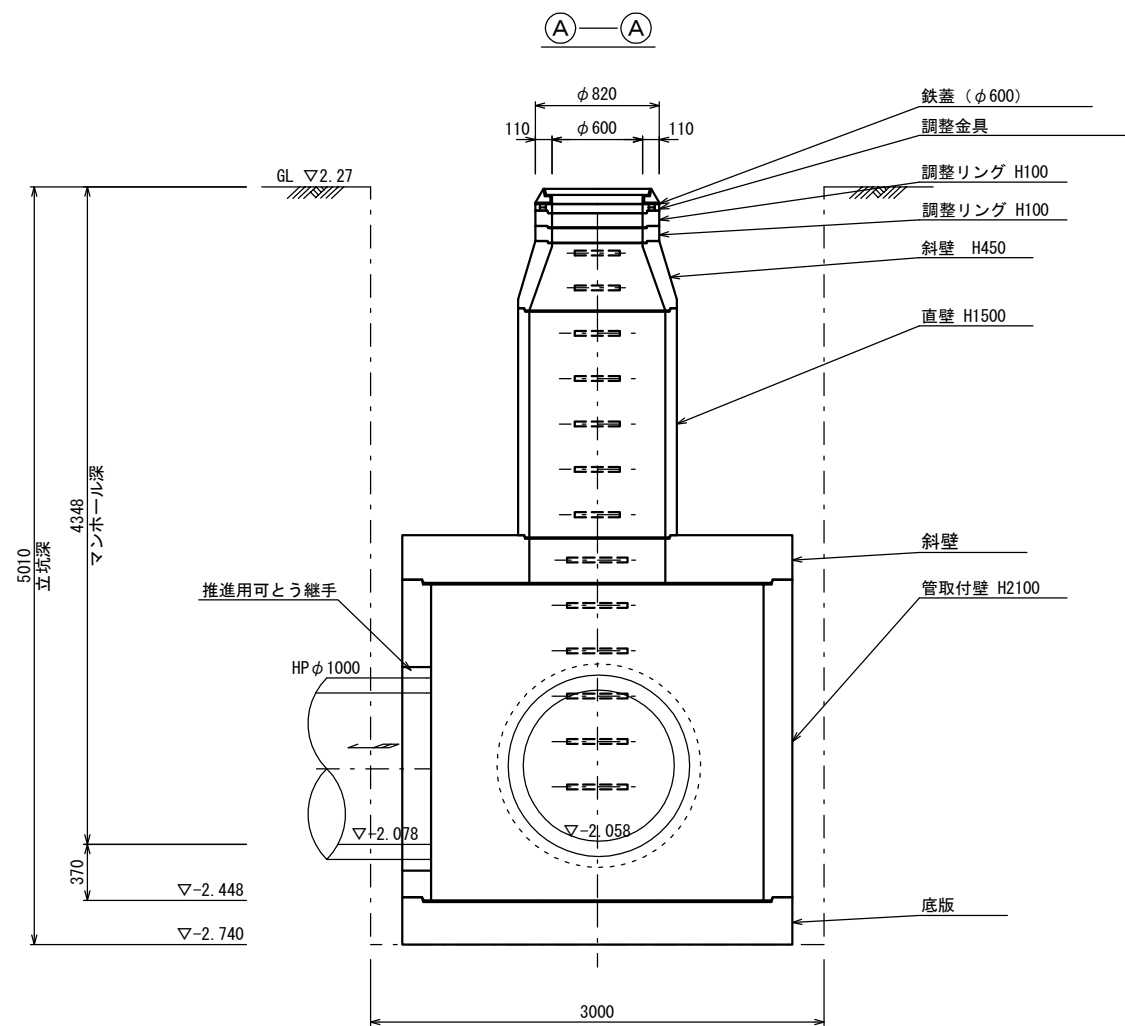
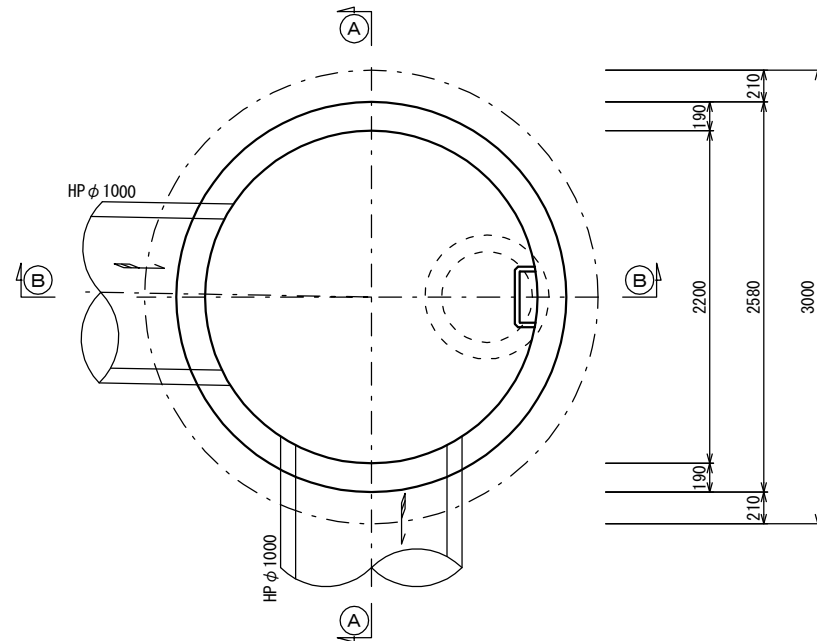


令和2年度 公共下水道事業(雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事(2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/50
刃口推進工仮設備図		
三原市		

M-1 マンホール構造図

(S=1/25)

平面図

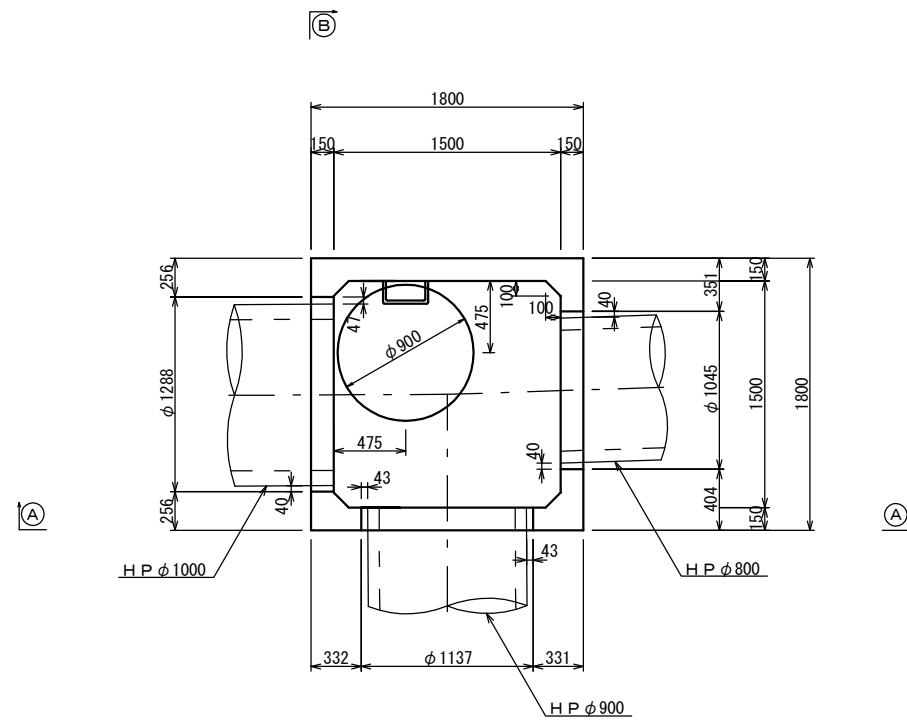


令和2年度 公共下水道事業 (雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事 (2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/25
M-1 マンホール構造図		
三原市		

M-2 マンホール構造図

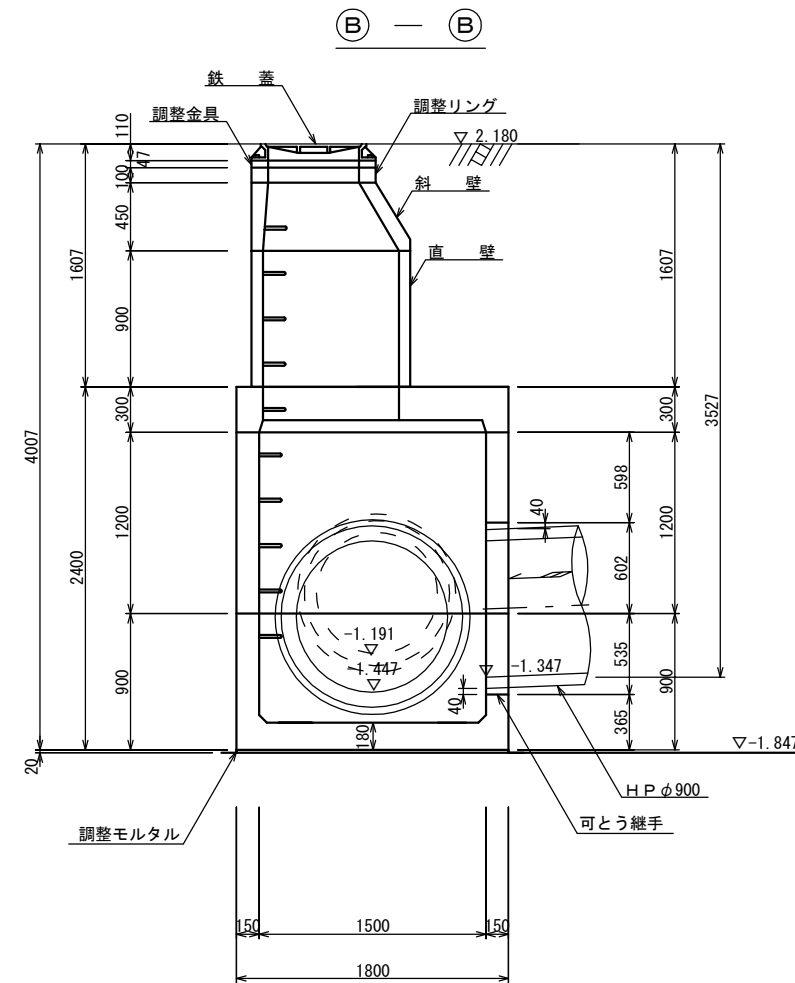
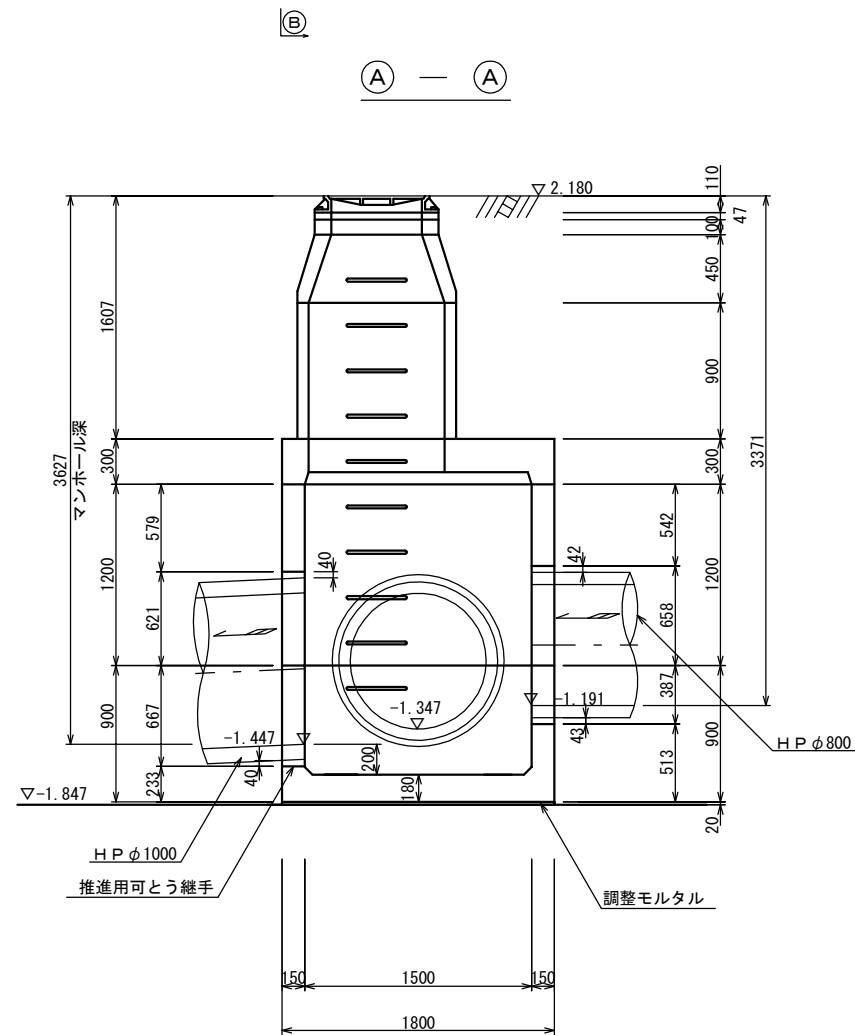
(S=1/25)

平面図



矩形人孔数量表

呼び名	種類	記号	高さ	数量	参考製品重量
(B1) (B2)	頂版ブロック		H=300	1	1650kg
1500×1500	管取付ブロックH		H=1200	1	2330kg
	管取付ブロックL		H=900	1	2670kg
鉄蓋	φ600			1	
調整金具			H=45	1	
調整金具	φ600		H=100	1	
斜壁	φ600/900		H=450	1	
直壁	φ900		H=900	1	
足掛金物	W=400			6	



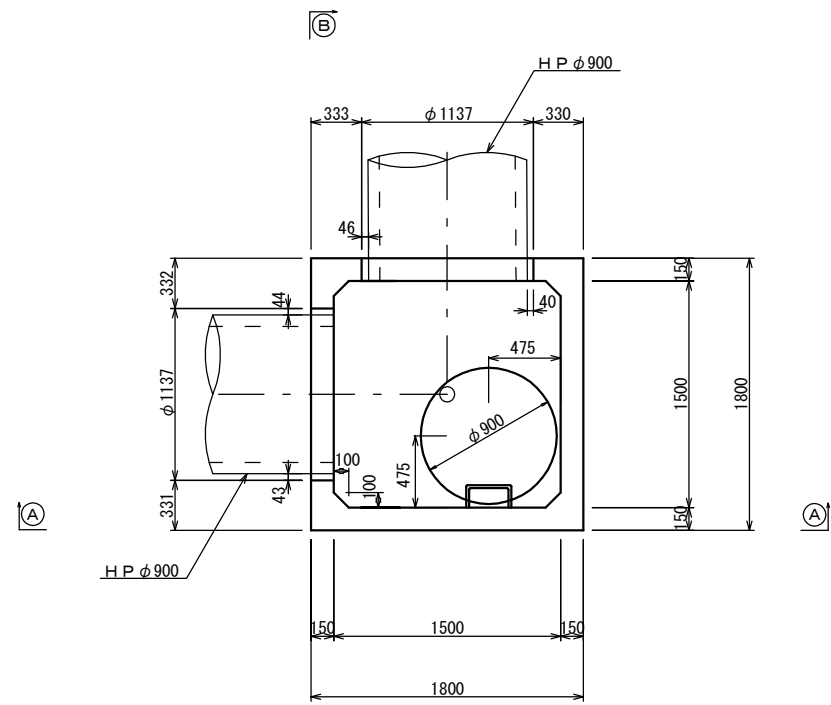
頂版ブロック  
管取付ブロックH  
管取付ブロックL

令和2年度 公共下水道事業(雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事(2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/25
M-2 マンホール構造図		
三原市		



M-3 マンホール構造図  
(S=1/25)

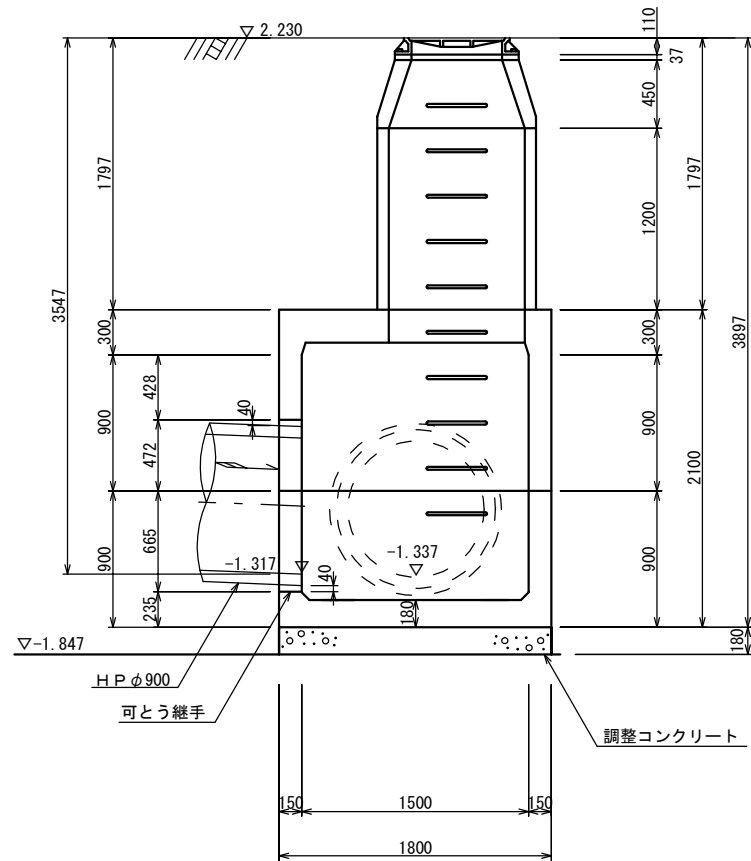
平面図



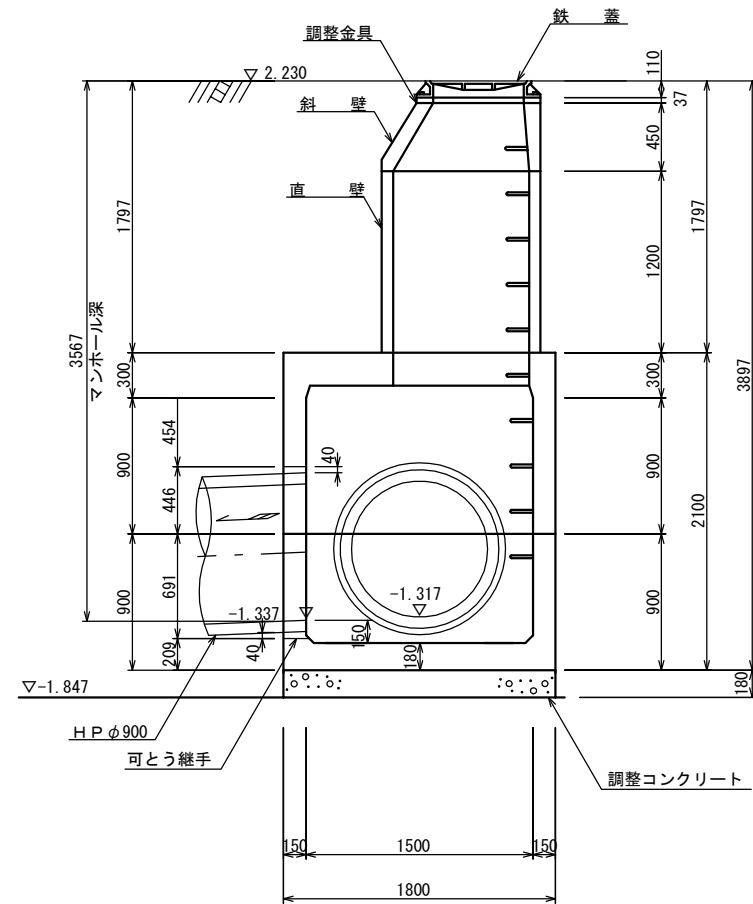
矩形人孔数量表

呼び名	種類	記号	高さ	数量	参考製品重量
(B1)	頂版ブロック		H=300	1	1650kg
(B2)	管取付ブロックH		H=900	1	1950kg
	管取付ブロックL		H=900	1	2730kg
	鉄蓋	φ600		1	
	調整金具		H=45	1	
	斜壁	φ600/900	H=450	1	
	直壁	φ900	H=1200	1	
	足掛金物	W=400		5	

(A) — (A)



(B) — (B)



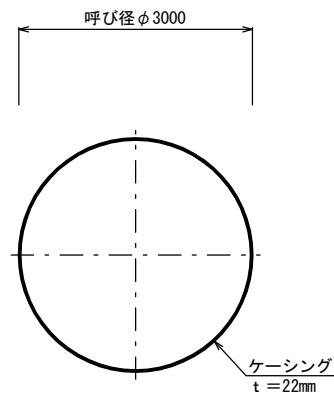
頂版ブロック  
管取付ブロックH  
管取付ブロックL

令和2年度 公共下水道事業(雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事(2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/25
M-3 マンホール構造図		
三原市		

M-1 両発進立坑仮設図

(S=1:50)

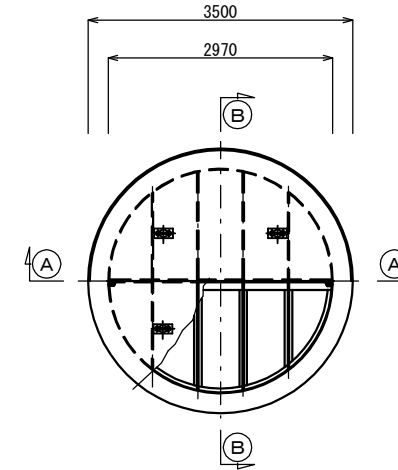
平面図



Ⓐ—Ⓐ

圧入完了時

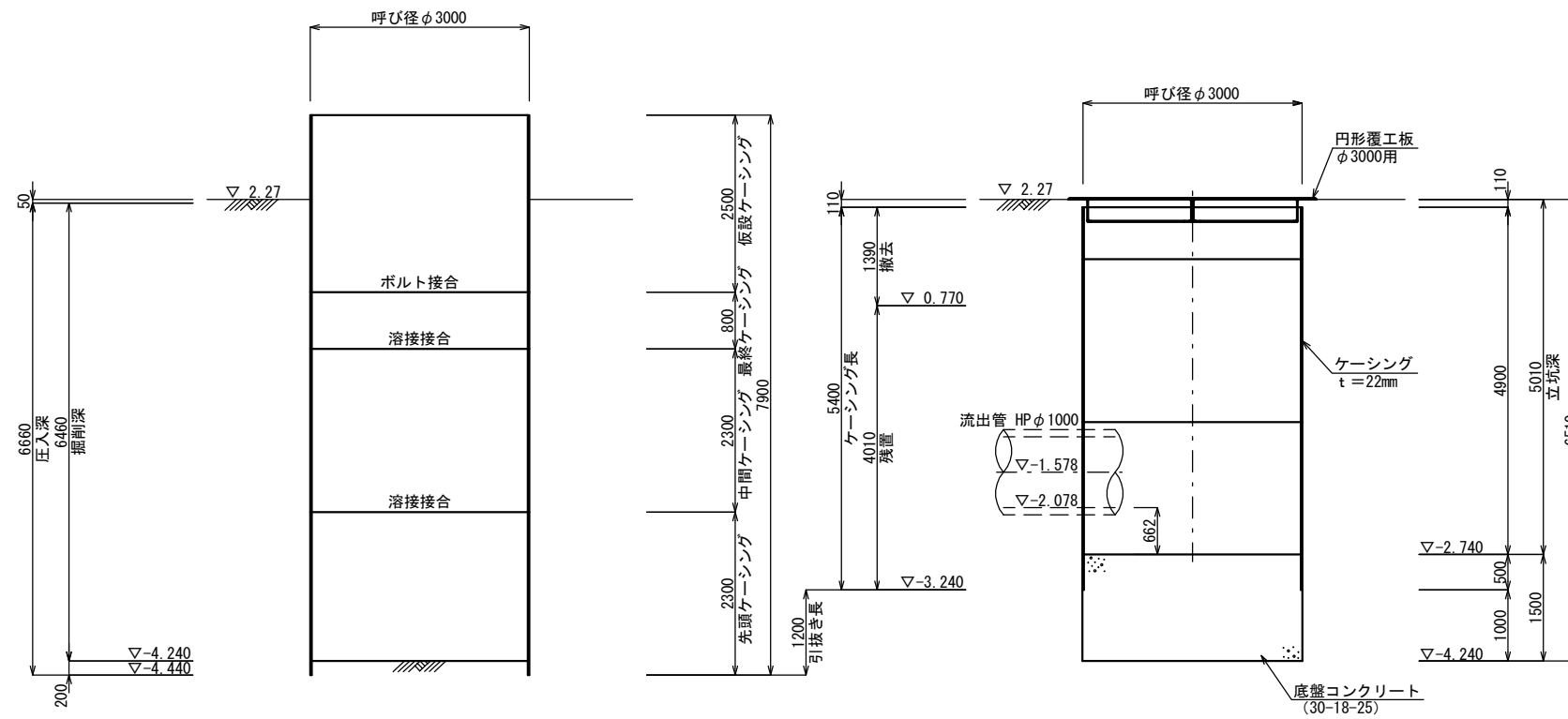
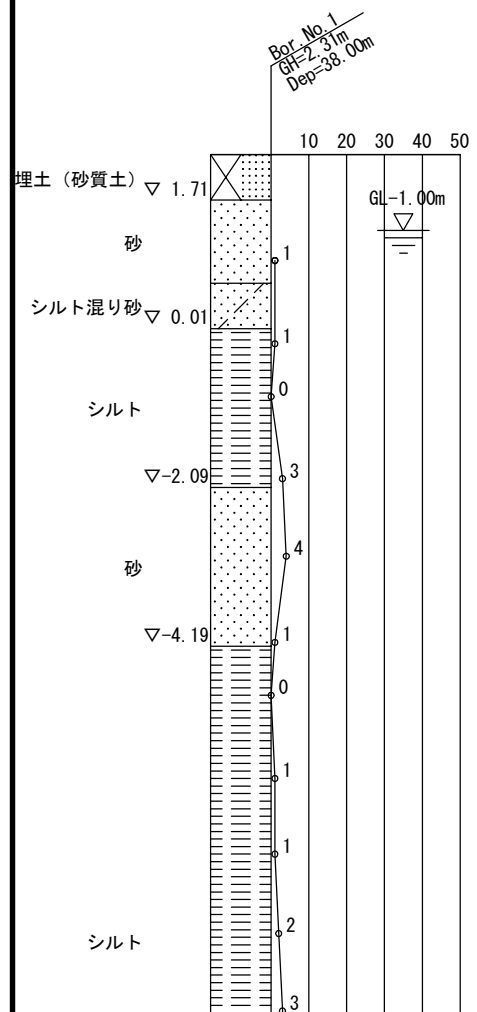
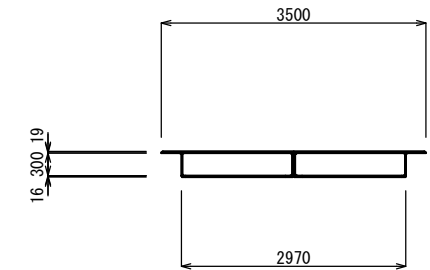
円形覆工板平面図



Ⓑ—Ⓑ

立坑築造完了時

円形覆工板断面図

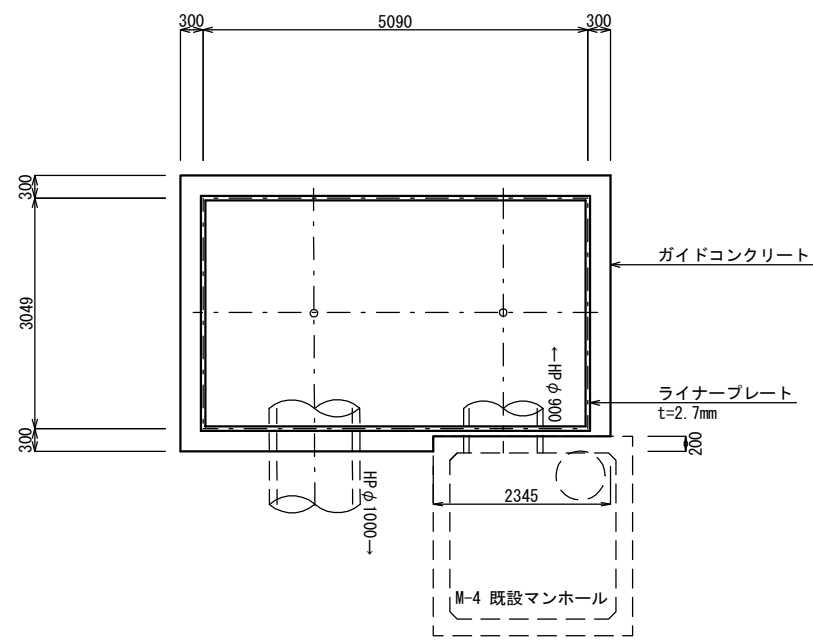


令和2年度 公共下水道事業(雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事(2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/50
M-1 両発進立坑仮設図		
三原市		

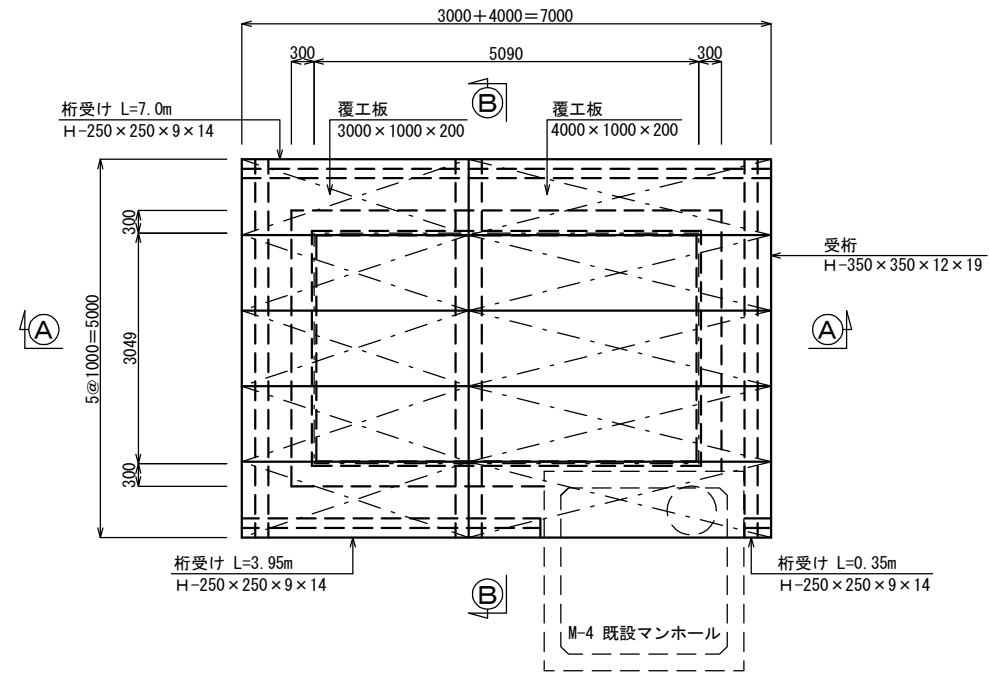
M-2 両到達立坑仮設図

(S=1/50)

平面図

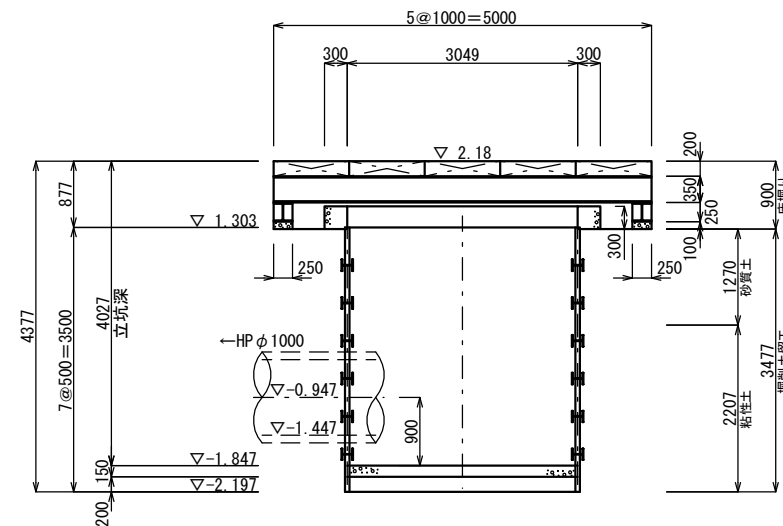
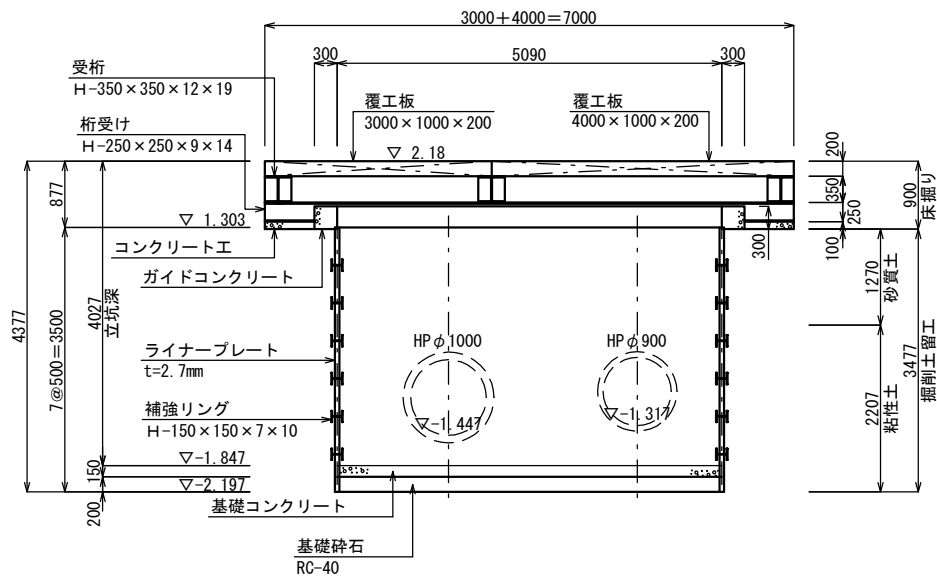
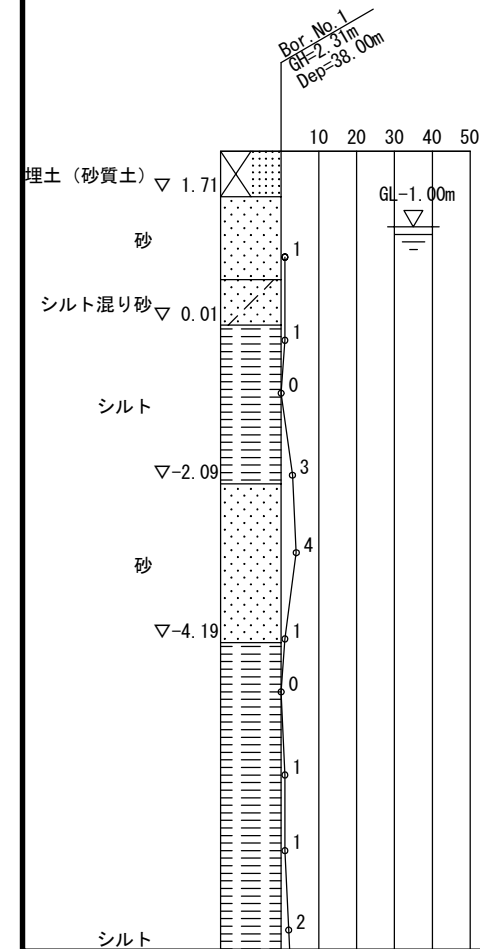


覆工平面図



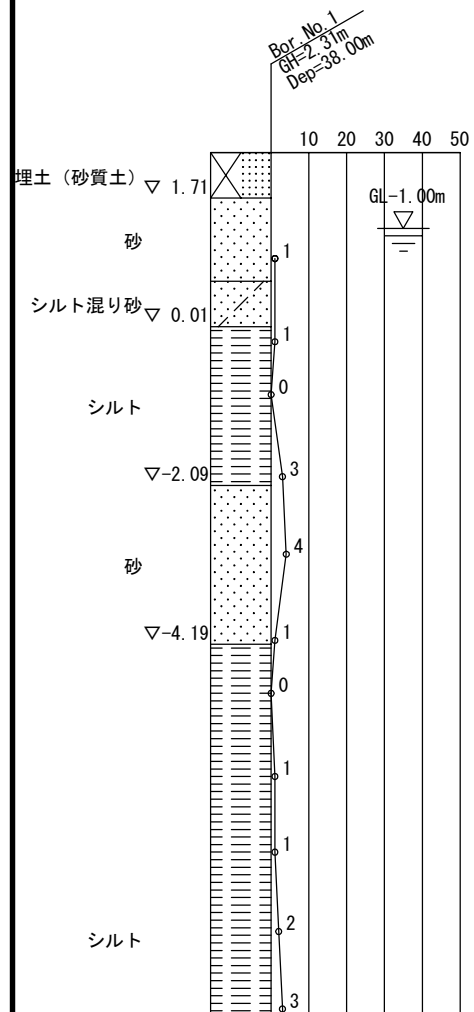
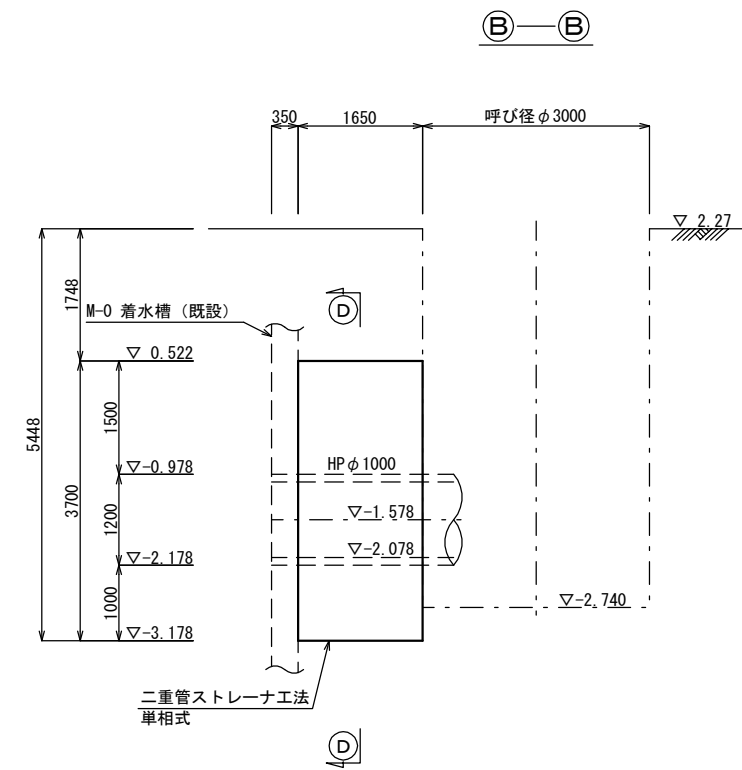
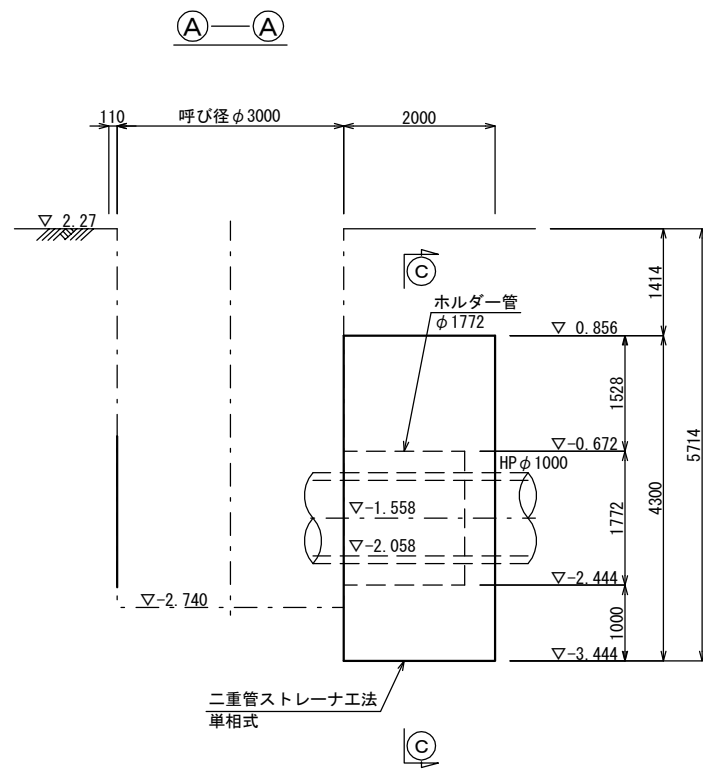
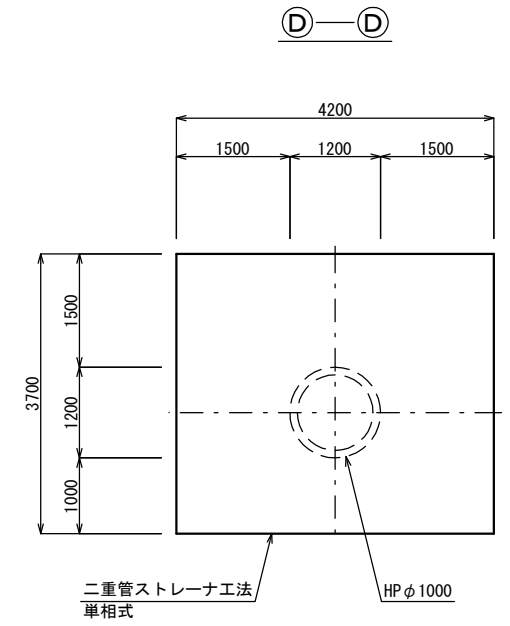
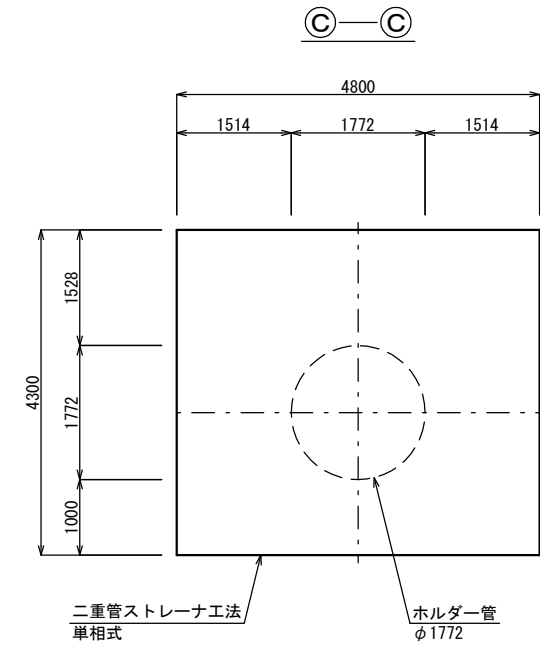
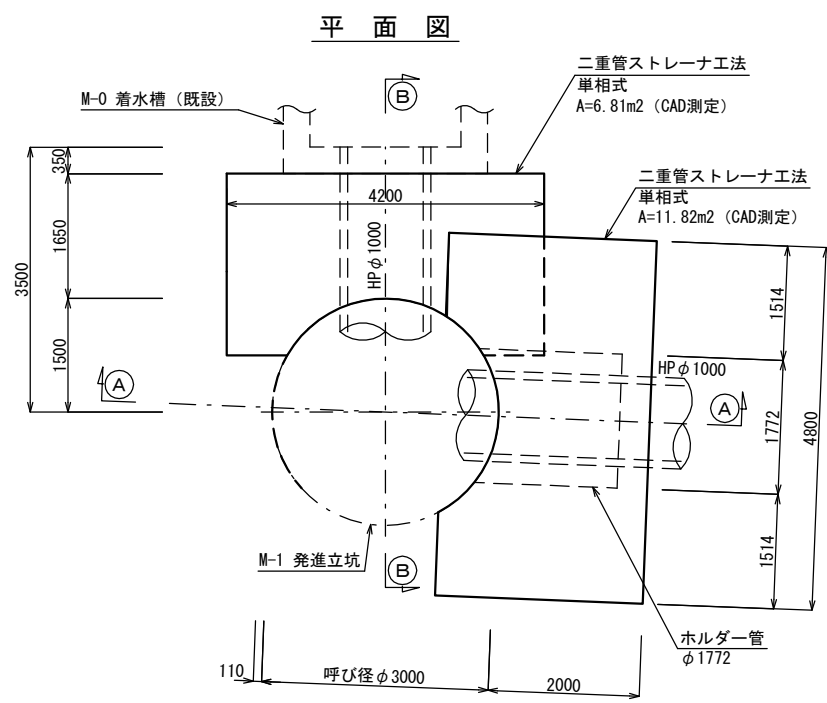
A—A

B—B



令和2年度 公共下水道事業 (雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事 (2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/50
M-2 両到達立坑仮設図		
三原市		

M-1 両発進立坑補助工法図  
(S=1/50)

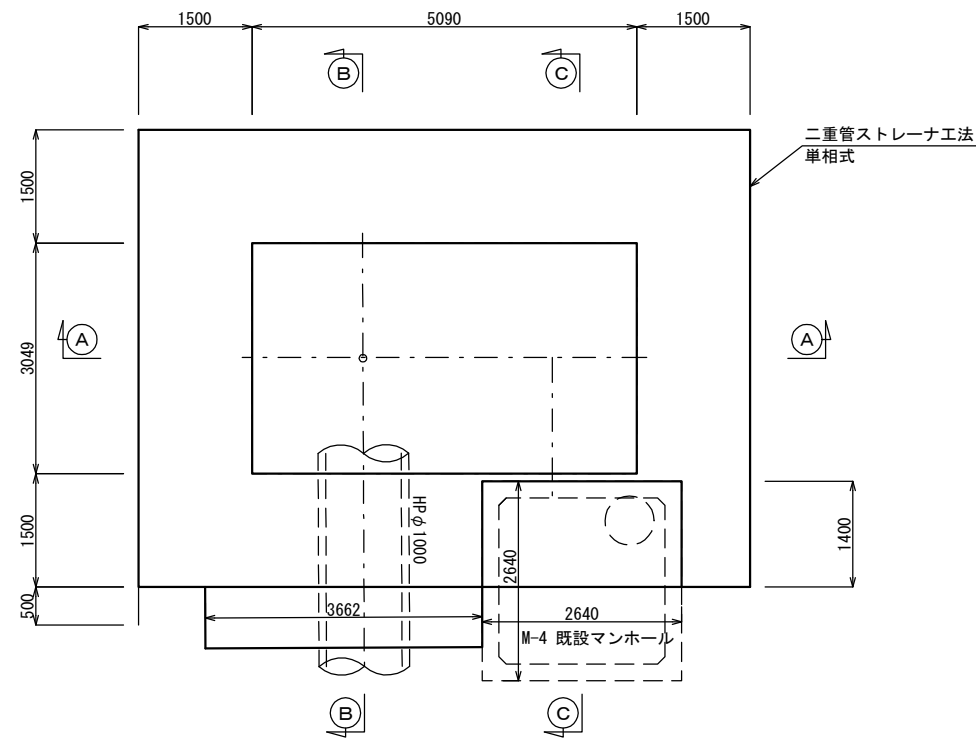


令和2年度 公共下水道事業 (雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事 (2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/50
M-1 両発進立坑補助工法図		
三原市		

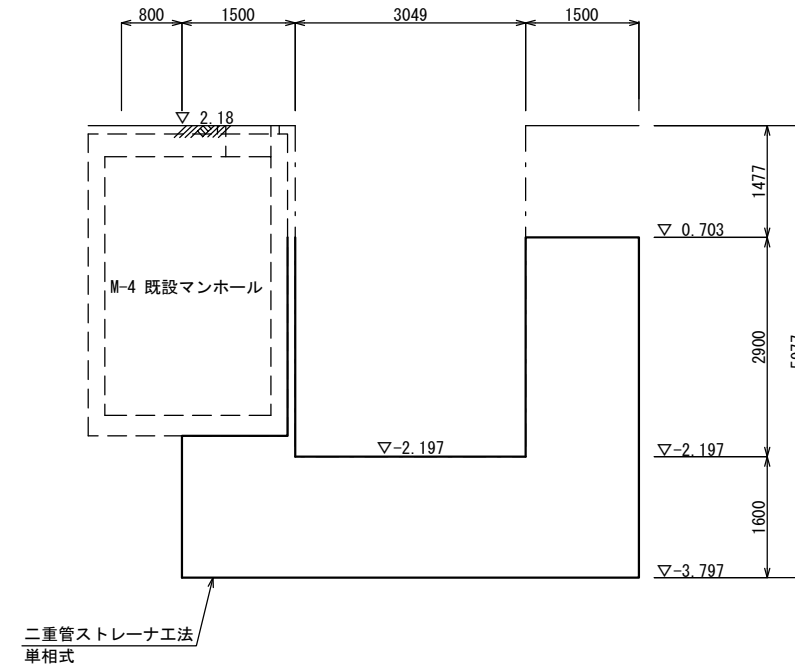
M-2 両到達立坑補助工法図

(S=1/50)

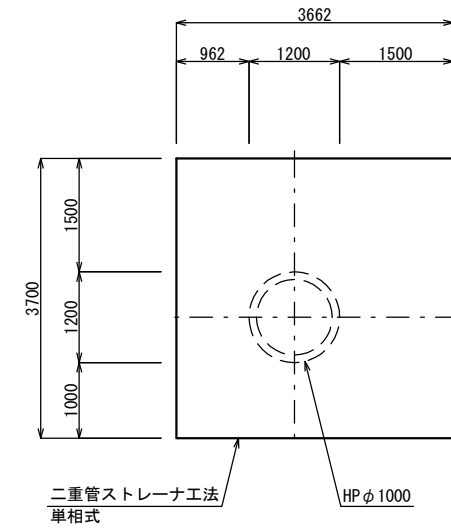
平面図



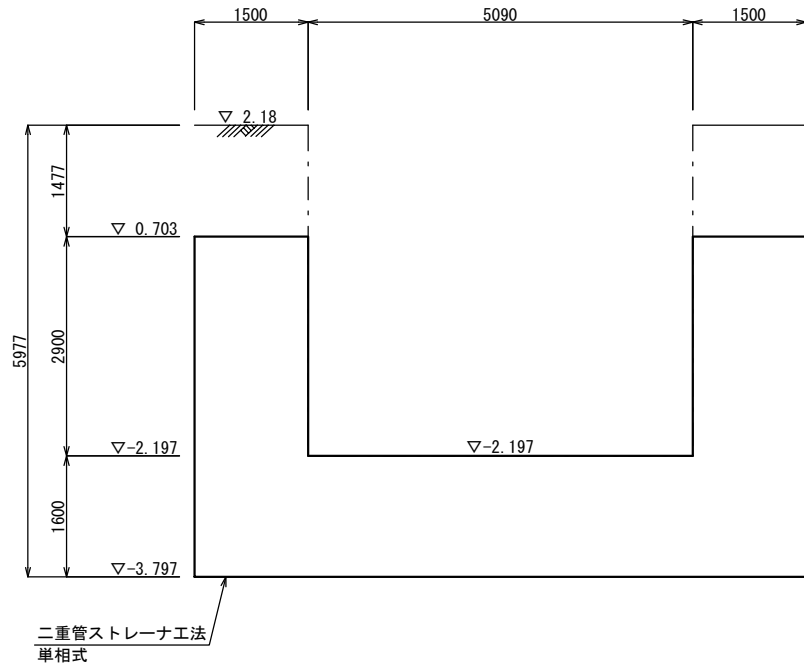
C—C



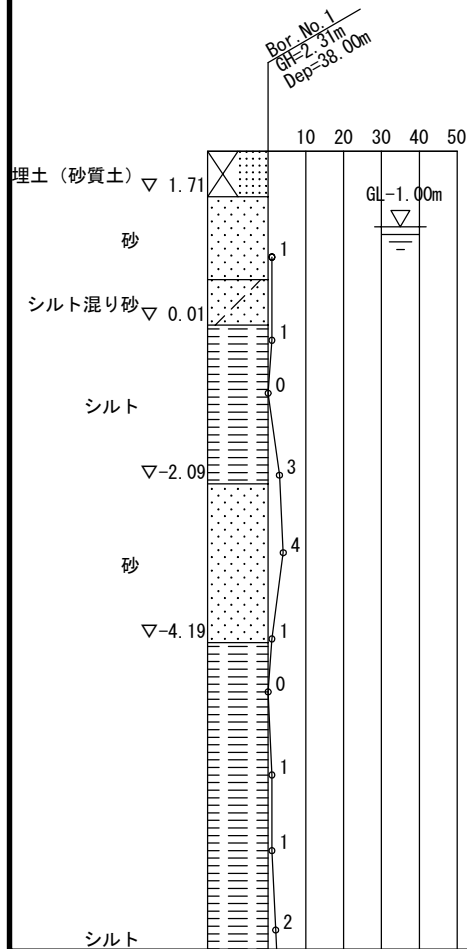
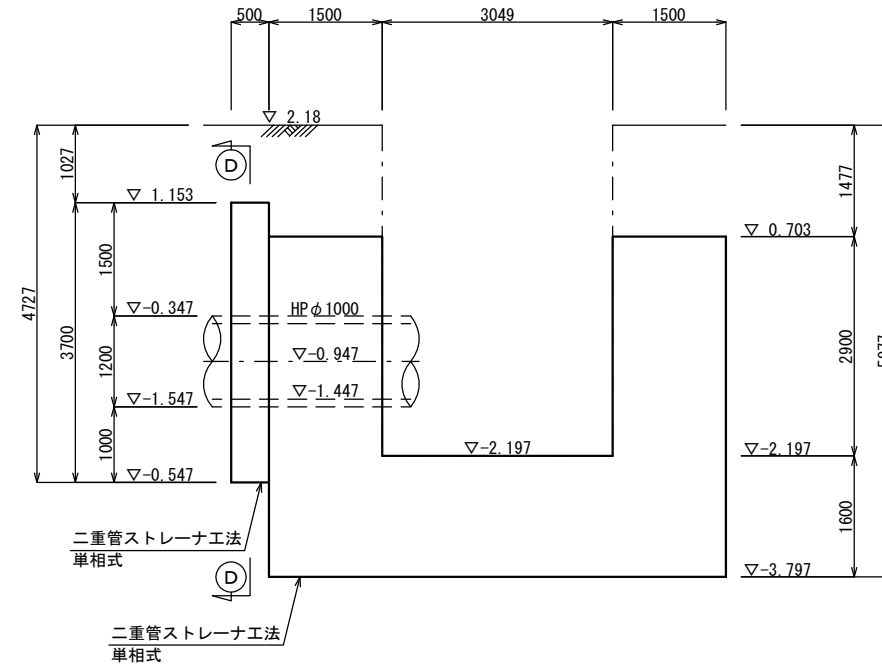
D—D



A—A

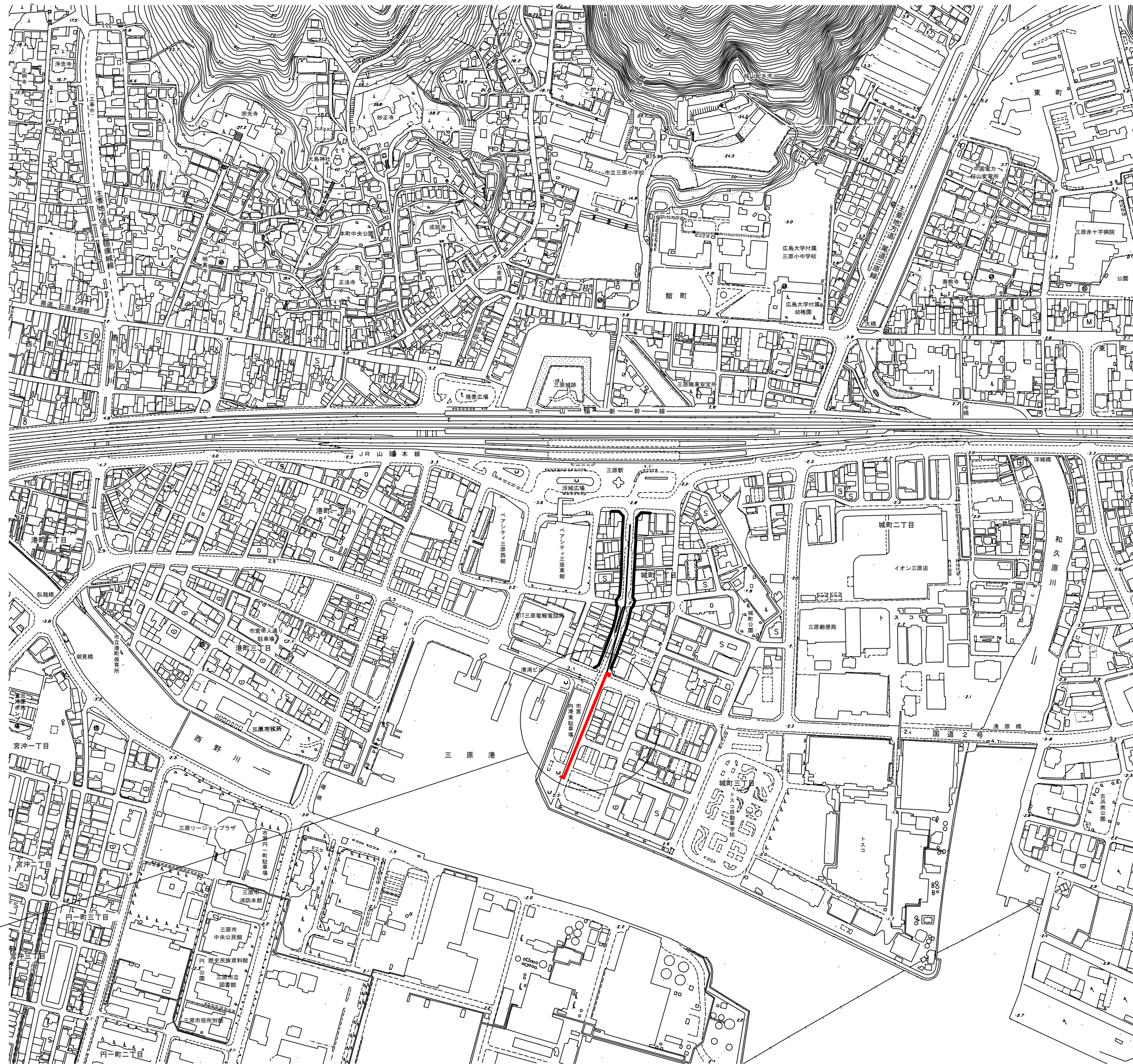


B—B



令和2年度 公共下水道事業 (雨水)		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事 (2-1工区)	
工事場所	三原市 城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/50
M-2 両到達立坑補助工法図		
三原市		

位置図 S=1/2500



施工箇所

令和2年度 公共下水道事業（雨水）		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事（2-1工区）	
工事場所	三原市城町三丁目	
図面番号	縮尺	1/2500
位置図		
三原市		